FUJIFILM

2.3 MEGA PIXELS

使用説明書

この説明書には、フジフイルム デジタル インプリンター カメラ ファインピックスPR21の使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

目　次

5 応用編 プリント

6 セットアップ編

1
2
3
4
5
6

はじめに

▶ご使用の前に必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。

■撮影の前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをして、プリンカムが正常に機能するかを事前に確認してください。

＊本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■著作権についてのご注意

あなたがプリンカムで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やデータの記録されたメモリーカード（スマートメディア）の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■フィルムおよび液晶について

フィルムおよび液晶パネルが破損した場合、フィルム内の苛性アルカリおよび液晶には十分に注意してください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- **皮膚に付着した場合：**
  付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- **目に入った場合：**
  きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- **飲み込んだ場合：**
  水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- プリンカムはクラスB情報技術装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で、住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しています。しかしプリンカムをラジオ、テレビジョン受信機に近づけてお使いになると、受信障害の原因となることがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- この機器を飛行機や病院の中で使用しないでください。
  使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因となることがあります。

■製品の取り扱いについて

本製品は、精密な電子部品で構成されておりますので、画像記録/プリント中にプリンカム本体に衝撃を与えると、画像データが正常に記録/プリントされないことがありますのでご注意ください。

■商標について

- iMac、Macintoshは、Apple Computer, Inc.の商標です。
- Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- SmartMediaは株式会社 東芝の商標です。
- その他の社名と商品名は各社の商標または登録商標です。

プリンカムの特長 / 付属品

主な特長

- instax mini フィルム用プリンター搭載デジタルカメラ
- 230万画素CCDと高解像度フジノンレンズによる超高画質
- 気に入った画像をその場でinstax miniフィルムにプリント！
- 焼き増しもその場でプリント！
- 内蔵テンプレートで楽しいプリントができる合成機能
- 撮影日時もプリント可能
- 記録画素数 最大1,800×1,200ピクセル
- バランスの良い構図で撮影ができるベストフレーミング機能
- 手軽に画像加工がその場で楽しめるエフェクト機能
- 大容量メモリーカード・スマートメディア（SmartMedia）対応
- デジタルカメラ統一規格DCF（Design rule for Camera File system）準拠
- 簡単プリントを実現するDPOF（Digital Print Order Format）対応
- 高画質プリントが楽しめるフジフイルムデジタルカメラプリントサービスに対応

＊フロッピーディスクアダプター FD-A2B、PCカードアダプター PC-AD3B、イメージメモリーカードリーダー SM-R1を使えばパソコンとの連携も一層便利です。

付属品

●単3形ニッケル水素電池（4本）
●ニッケル水素／ニカド急速充電器

●ネックストラップ（1本）

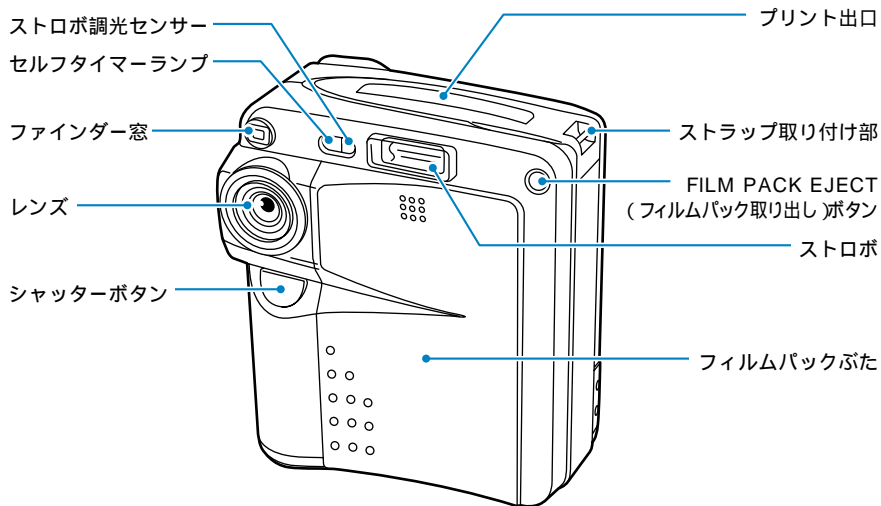
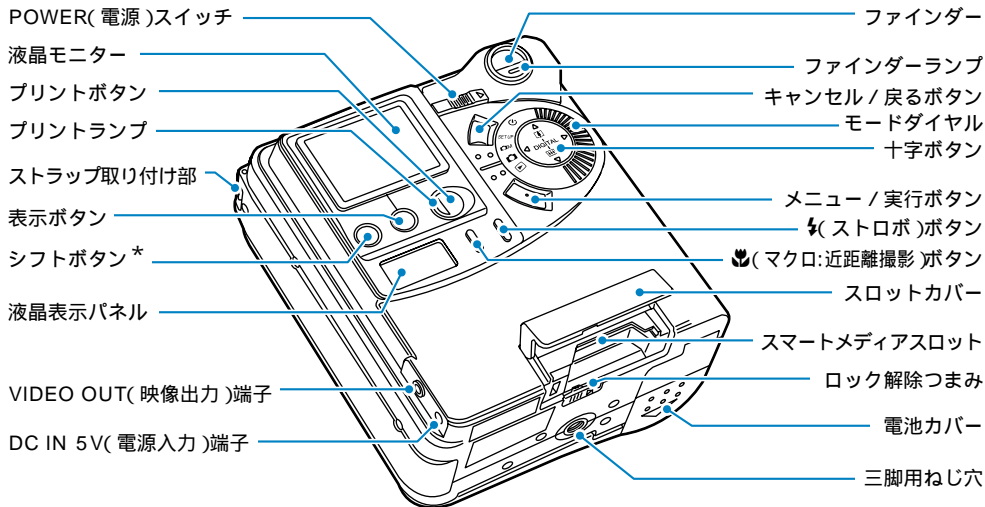
●レンズキャップ（1個）

●ビデオケーブル
（φ3.5mmミニプラグ×ピンプラグ約1.5m）（1本）

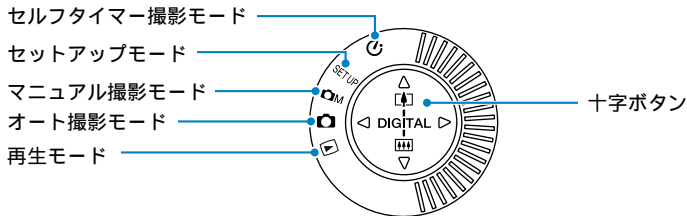
●使用説明書（本書）（1部）
●安全上のご注意（1部）
●保証書（1部）

各部の名称

ストロボ調光センサー
セルフタイマーランプ
ファインダー窓
レンズ
シャッターボタン
プリント出口
ストラップ取り付け部
FILM PACK EJECT
（フィルムパック取り出し）ボタン
ストロボ
フィルムパックぶた

＊

カメラ機能	モニター明るさ設定・クオリティー設定・ピクセル設定など
プリンター機能	プリント枚数設定・ズーム送り・ページ移動など

各部の名称

モードダイヤル

- ：**セルフタイマー撮影モード（➡56ページ）**
  約10秒のセルフタイマー撮影ができます。

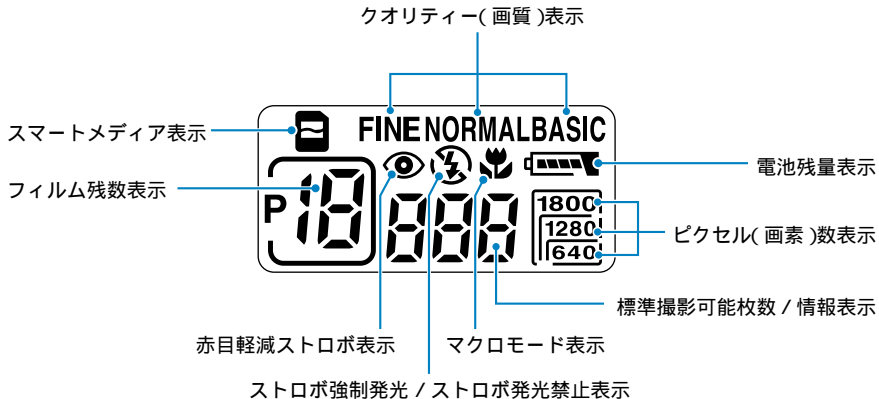
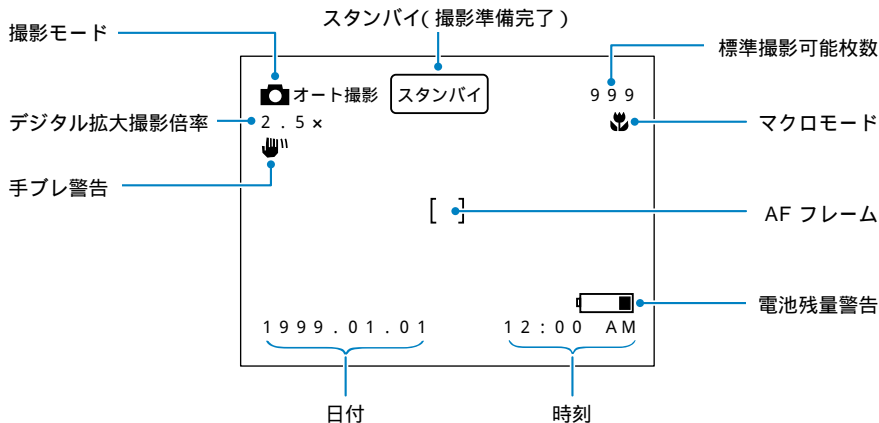
SET UP ：**セットアップモード（➡91ページ）**
  クオリティー、ピクセル、シャープネス、オートパワーオフ、LCD、コマNo.メモリー、ビープ♪（ブザー音）、日時の設定、テンプレート登録、オート撮影後プリント、プリント画質調整、プリントサイズ、日付プリントの設定が行えます。

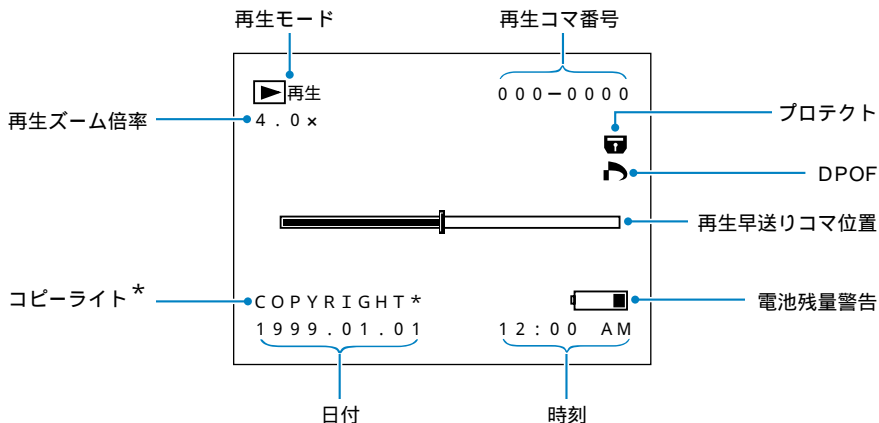
M ：**マニュアル撮影モード（➡51ページ）**
  撮影画像を確認したあとに記録できます。またホワイトバランス、明るさ（露出補正）、ストロボの明るさ補正、夜景（スローシンクロ）の設定ができます。

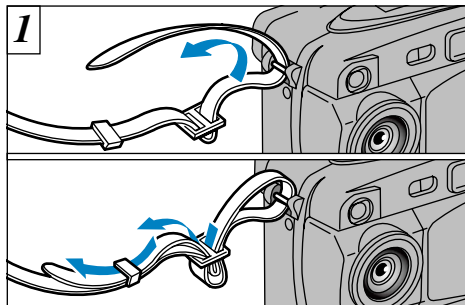
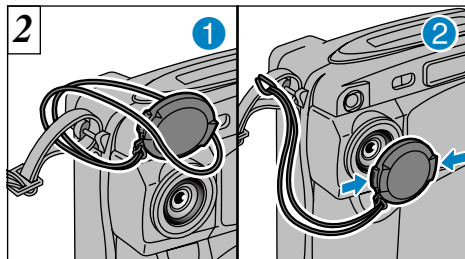
- ：**オート撮影モード（➡29ページ）**
  撮影状況に応じて露出などをカメラが自動的に制御する、簡単で使いやすい撮影方法です。

- ：**再生モード（➡39ページ、58ページ）**
  通常の1コマ再生の他に再生ズーム、マルチ再生ができます。その他、コマの消去やフォーマット、エフェクト、オートプレイ、リサイズ、プロテクト、DPOFの設定ができます。
  再生画面から“ プリント ”ボタンを押すとプリントできます。

液晶表示パネル

クオリティー（画質）表示
FINE
NORMAL
BASIC
スマートメディア表示
フィルム残数表示
P
電池残量表示
1800
1280
640
ピクセル（画素）数表示
標準撮影可能枚数／情報表示
赤目軽減ストロボ表示
マクロモード表示
ストロボ強制発光／ストロボ発光禁止表示

液晶モニターの文字表示例：撮影

液晶モニターの文字表示例：再生

＊コピーライトは、著作権情報を入力したカメラで撮影した画像を再生したときに表示されます。
本機には著作権情報を入力できません。したがって本機で撮影した画像にはCOPYRIGHT情報を付与できません。

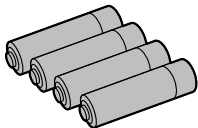
ネックストラップとレンズキャップを取り付けます

ネックストラップを、ストラップ取り付け部に通して、取り付けます。反対側も同じように取り付けてください。
ストラップ取り付け後は、ストラップが外れないことを十分にご確認ください。

① レンズキャップのヒモを、ストラップに通して引っ張ります。
② レンズキャップは左右を押しながら取り付け、取り外します。

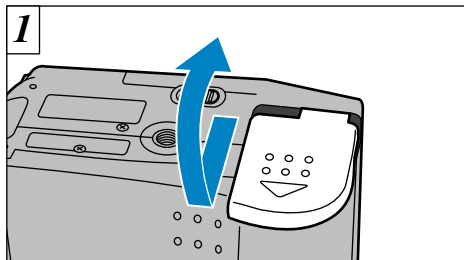
! 取り付けかたを間違えると、プリンカムが落下する場合があります。

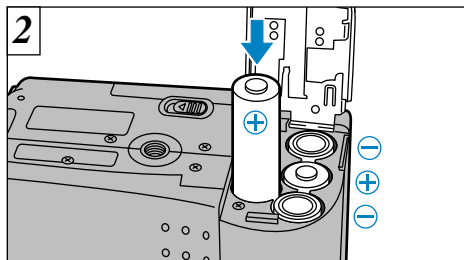
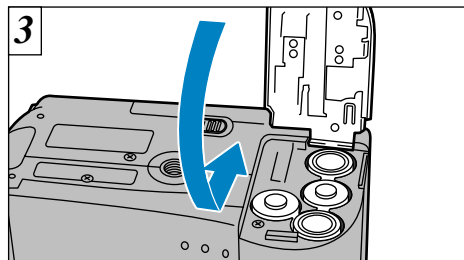
! レンズキャップをなくさないように、ヒモを取り付けることをおすすめします。
! 撮影するときは必ずレンズキャップを外してください。

電池を入れます

使用する電池

単3形ニッケル水素電池（付属品）または、単3形ニカド電池（別売）で同種のものを4本使用します。ニッケル水素電池やニカド電池は、購入時には充電されていませんので付属のニッケル水素/ニカド急速充電器で充電後ご使用ください。
充電方法は、急速充電器の取扱説明書をご覧ください。
また、多数枚プリントする場合は、ACパワーアダプター（別売）の使用をおすすめします。

◆ご使用できない電池について◆

- アルカリ乾電池を使用すると、プリント排出途中で停止する場合があり、故障の原因になることがありますので使用しないでください。
- リチウム電池やマンガン乾電池は発熱などにより、本機の故障の原因になることがありますので使用しないでください。

電池カバーを矢印方向にスライドさせてから開けます。

- ❗ 電池カバーに無理な力を加えないでください。
- ❗ 電池を交換するときは必ず電源を切ってください。電源を切らないと、各種設定が工場出荷設定に戻ることがあります。
- ❗ 各種設定は、ACパワーアダプターを接続または電池を入れて約1時間以上経過していれば、電池を取り出して放置しても、約1時間保持されます。電池交換後は、日付設定などをご確認ください。
- ❗ 新しい電池と使用した電池を、まぜて使用しないでください。

電池を表示に従って正しくセットします。

電池カバーを矢印のように閉めます。

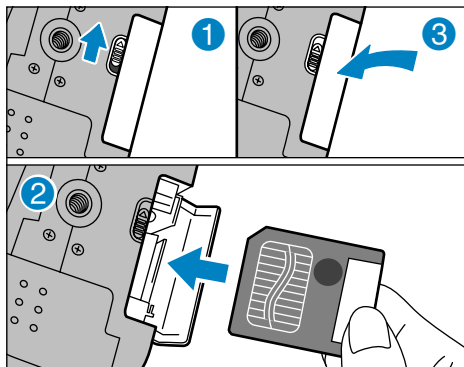
! 電池カバーを開閉するときは、電池を落とさないように注意してください。

スマートメディア™をセットします

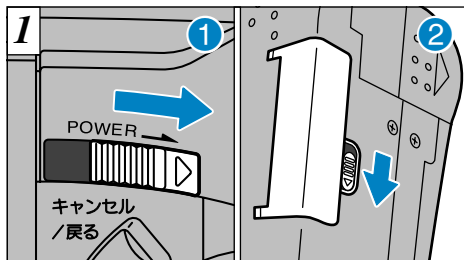
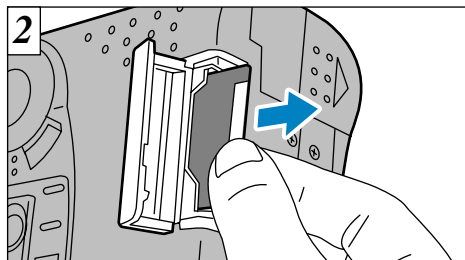
スマートメディア™

スマートメディアは必ず3.3V仕様をお使いください。
MG-4SB（4MB）、MG-8SB（8MB）、MG-16SB（16MB）、MG-32SB（32MB）、MG-64SB（64MB）

64MBのスマートメディアに640×480ピクセルモードで記録すると、1000コマを超えて記録可能な場合があります。その場合、プリンカムでは、コマNo.の大きいほうから1000コマの画像のみの再生、またDPOF設定などができます。「コマNo.の大きいほうから1000コマの画像」の範囲外に再生したい画像がある場合には、不要画像を消去して、全体で1000コマ以下にして、必要な画像を再生してください。
このような複雑な操作を避けるためにも、記録コマ数は、最大1000とすることをおすすめします。

- ライトプロテクトシールがはられていると、記録、消去ができません（➡77ページ）。
- プリンカムでの動作保証は弊社製スマートメディアのみとなります。
- 3.3V仕様品の中には「3V」という表示のものがあります。
- スマートメディアについてのご注意は、111ページをご参照ください。

❶電源が切れていることを確認し、スロットカバーのロックを外します。
❷スマートメディアスロットにスマートメディアを確実に奥まで差し込みます。
❸スロットカバーを閉めます。

- 電源が入った状態でスロットカバーを開けると、スマートメディア保護のため電源が切れます。
- スマートメディアの向きが間違っていると奥まで入りません。また、無理な力を加えないでください。

スマートメディア™の取り出しかた

❶ファインダーランプが緑色に点灯していることを確認し、電源を切ります。
❷スロットカバーのロックを外します。

スマートメディアをつまんで取り出します。

⚠ スマートメディアを保管するときは、必ず専用の静電気防止ケースに入れてください。

◆画像のパソコンへの取り込みについて◆

パソコンに画像を取り込むには、101、103〜105ページをご参照ください。

⚠ 電源を切らずにスロットカバーを絶対に開けないでください。スマートメディア、または画像データが破壊されることがあります。

フィルムパックをセットします

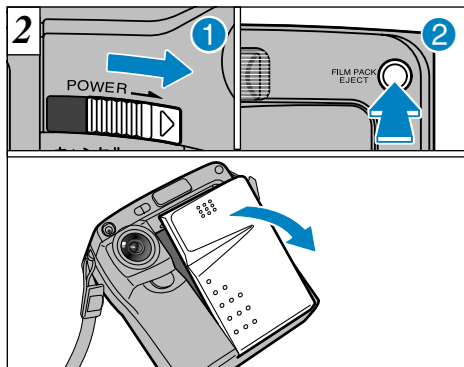
使用するフィルム

「フジフイルムインスタントカラーフィルム instax mini（インスタックスミニ）」のみ使用できます。他のフィルムは使用できません。

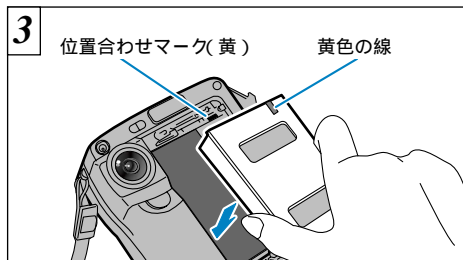
フィルムパック前面のフィルムカバー（遮光板）、および背面の2カ所の長方形の穴は、絶対に押さないでください。

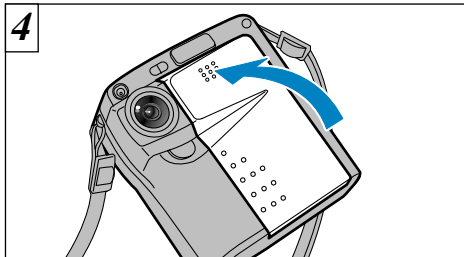
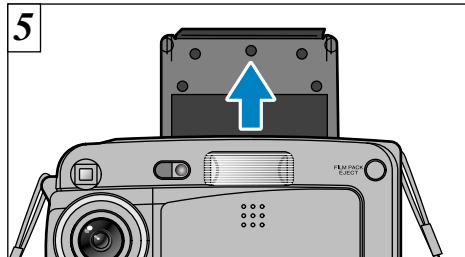
- フィルムは1パック10枚入りです。
- フィルムは有効期限内にお使いください。
- プリンカムに入れたフィルムは、できるだけ早く使い終えてください。
- プリントまで期間がある場合は、フィルムの装てんはおすすめしません。
- フィルム装てんの際は、フィルムパッケージの注意書きをお読みください。

- フィルムパックを内装袋から取り出し、プリンカムへ装てんするときは、直射日光を避けて行ってください。
- フィルムパックには10枚のフィルムが収納されており、1枚の黒色のフィルムカバーで遮光されています。

フィルムパックをセットします

❶**電源を入れます。**
❷**“ FILM PACK EJECT ”ボタンを押し、フィルムパックぶたを開けます。**

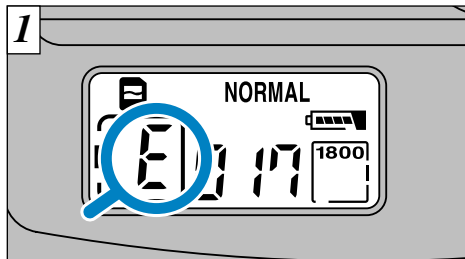
絶対にプリンカム内部に触れないでください。プリントの画質劣化の原因になります。

- フィルムパックぶたは電動で開きますので、必ず電源を入れてください。
- 液晶表示パネルにフィルム残数表示が“ 1〜10 ”のときは、フィルムが残っていますので、フィルムパックぶたは開きません（液晶表示パネルは、電源が入っているときのみ表示されます）。

フィルムパックの左右を持ち、フィルムパックの“ 黄色の線 ”をプリンカム内部の“ 位置合わせマーク（黄）”に合わせて、まっすぐ落とし込むように入れます。

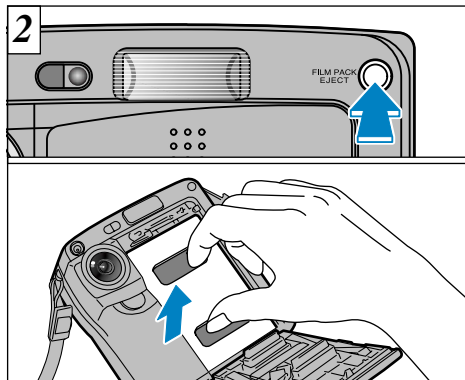
- フィルムパックのセット中は、電池の入れ替えやスロットカバーの開閉は行わないでください。フィルム残数表示が誤作動することがあります。
- フィルムパックぶたが開いた状態で放置すると電池が消耗し、フィルム残数表示が誤作動することがあります。
- フィルムパックぶたが開いている状態ではすべてのボタン操作・電源OFFはできません。

フィルムパックが正しく入っていることを確かめて、“ フィルムパックぶた ”先端付近を押して閉めます。

“ フィルムパックぶた ”を閉めると、約10秒後に自動でフィルムカバーが排出されます。フィルムカバーが止まってから取り除いてください。

1

フィルムパックぶたを閉めている途中で止めたり、完全に閉まる前に開け閉めをすると、フィルムが感光する恐れがあります。

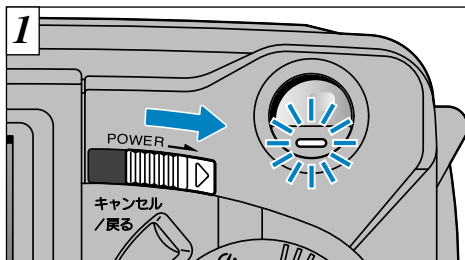
フィルムパックの取り出しかた

10枚のフィルム（1パック）をプリントし終わると、液晶表示パネルのフィルム残数表示が、“ E ”になります。

❗フィルム残数表示が“ 1～10 ”のときは、フィルムが残っていますので、フィルムパックぶたは開きません（液晶表示パネルは、電源が入っているときのみ表示されます）。

❗フィルム詰まりなどで強制的にフィルムパックを取り出したい場合、“ シフト ”ボタンを押しながら“ FILM PACK EJECT ”ボタンを押してください。ただし、残っているフィルムは使用できなくなります。

“ FILM PACK EJECT ”ボタンを押してフィルムパックぶたを開け、フィルムパックの穴に指をかけて取り出します。

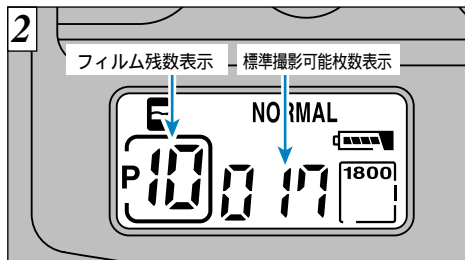
❗フィルムパックぶたは電動で開きますので、必ず電源を入れてください。

フィルムやフィルムパックが無くても、本機はデジタルカメラとして機能し、スマートメディアに画像を記録できます。

電源のON/OFF

電源の入/切は、“ POWER ”スイッチを矢印方向にスライドさせます。電源を入れるとファインダーランプ [緑] が点灯します。

◆オートパワーオフ機能◆

電源を入れたまま約2分間放置すると、電源が自動的に切れます。

- “ 表示 ”ボタンを押しながら電源を入れると、オープニング画面の表示／非表示が切り換えできます。
- 各操作の前には、必ず電源を入れてください。
- 容量不足の電池を使用し電源を入れると、ファインダーランプが[緑]に点灯しますが、操作ボタンを押しても機能しないことがあります。この場合は、電源を切り新しい電池を入れてから再び電源を入れてください。

液晶表示パネルに、スマートメディア標準撮影可能枚数と、プリントできるフィルム残数が表示されます。

- 被写体（画像の細かさなど）によって記録されるデータ量が一定ではないため、実際に撮影できる枚数と異なる場合があります。
- “ ! CARD ERROR ”が表示された場合は、まずスマートメディアの接触面（金色の部分）を乾いた柔らかい布などで軽くふいてから、再セットしてください。また、スマートメディアのフォーマットが必要な場合があります（➡61ページ）。

電池残量表示を確認します。

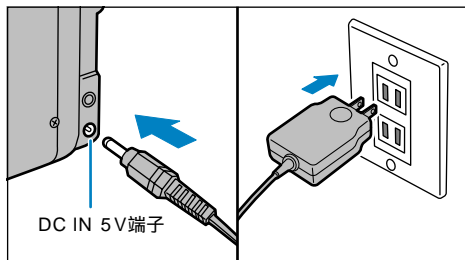
❶電池の容量は十分です。

❷プリントに必要な容量がありません。カメラとしては使用できます。＊プリントしようとすると液晶モニターに［電池マーク］が点滅表示されます。

❸電池の容量が不足しています。まもなく電源が切れますので、電池を交換することをおすすめします。

❹電池の容量がありません。ただちに表示が消えて動作を終了します。電池を交換してください。

❗液晶モニターの日時が点滅表示された場合は、日時を設定してください（➡24ページ）。

ACパワーアダプターの使いかた

電池の消耗を気にせず撮影・再生やプリントするには、専用のACパワーアダプター AC-PR/5V（別売）のご使用をおすすめします。

プリンカムの電源が切れていることを確認してから、AC-PR/5Vの接続プラグをプリンカムの“DC IN 5V”端子に差し込みます。その後、AC-PR/5Vを電源コンセントに差し込みます。

❗AC-PR/5V以外をお使いになると、本機の故障の原因になることがあります。

❗ACパワーアダプターについてのご注意は、110ページをご参照ください。

■電池撮影可能枚数・プリント可能枚数のめやす

＊表の数値は、下記条件での撮影・プリントの、標準的な撮影可能枚数・プリント可能枚数です。

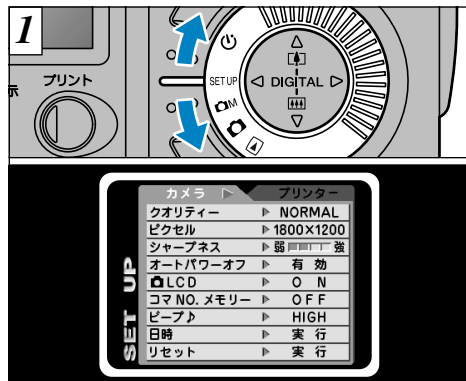
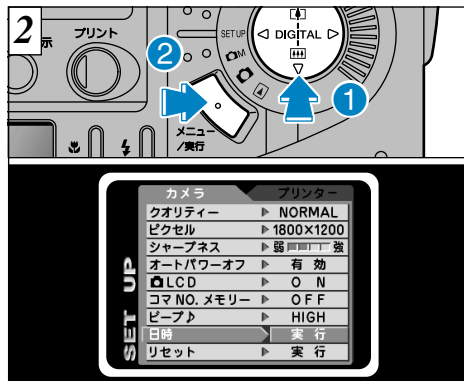
電池種類	撮影/プリント同時枚数	撮影枚数		プリント枚数（再生時）
		液晶モニターON	液晶モニターOFF	
ニッケル水素電池	約60枚	約170枚	約520枚	約90枚
ニカド電池	約40枚	約120枚	約350枚	約70枚

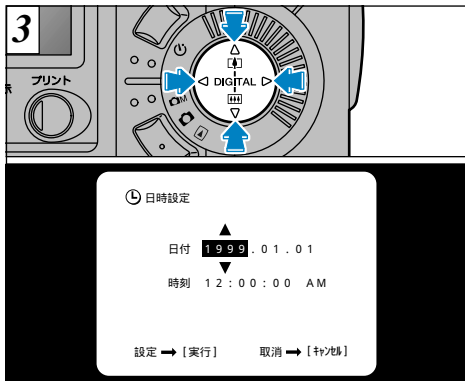
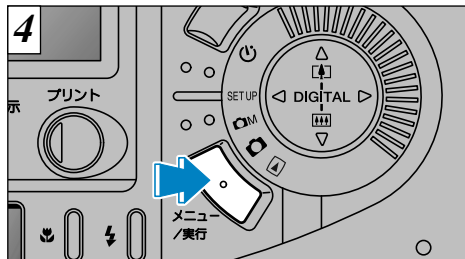
※プリントボタンを押したときにプリントできない場合は、電源の入/切を行ってください。電池特性によってはプリントできることがあります。

■条　件

周辺温湿度：＋25℃、50％
電池　　　：ニッケル水素電池…FUJIFILM単3形　HR-AA「ニッケル水素1600」
　　　　　　ニカド電池…………FUJIFILM単3形　KR-AA「ハイパワー1000」（ニッケル水素電池，ニカド電池は「ニッケル水素/ニカド急速充電器」で満充電）
撮影　　　：クオリティー設定＝NORMAL ピクセル設定＝1800×1200 ストロボ発光＝撮影2回に1回発光
設定　　　：SETUP・再生メニュー・マニュアル撮影メニューなどの設定/工場出荷設定
操作間隔　：撮影/プリント同時間隔＝60秒、撮影間隔＝30秒、プリント間隔＝60秒

＊「撮影／プリント同時枚数」は、SETUPメニューで“オート撮影後プリント”を“する”に設定し、撮影とプリントを交互に行ったときの撮影/プリント可能枚数のめやすです（液晶モニターON）。
（電池の消耗によりプリントができなくなっても撮影はできる場合があります）
＊「撮影枚数」は撮影だけを行ったときの撮影可能枚数のめやすです。
＊「プリント枚数」はプリントだけを行ったときのプリント可能枚数のめやすです。
＊プリントと撮影の順番・再生時間・撮影モードでの放置時間・画質調整の設定・液晶モニターの明るさの設定および撮影（プリント）時の環境温度などにより、撮影可能枚数・プリント可能枚数が異なります。

日時の合わせかた

モードダイヤルを“ SET UP ”に合わせ、セットアップ画面を表示します。

❶十字ボタンの“ ▼ ”を押して“ 日時 ”を選択し、❷“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

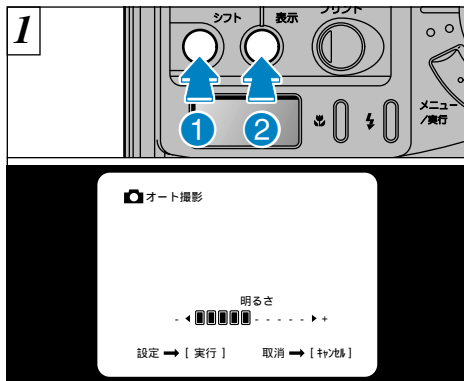
- SETUPモードのメニューについて、詳しくは91ページをご参照ください。
- 設定した日時は、ACパワーアダプターを接続または電池を入れて約1時間以上経過していれば、電池を取り出して放置しても、約1時間保持されます。

十字ボタンの“◀ ▶”を押して合わせたい項目（年・月・日・時・分）を選び、“▲▼”を押して修正します。

合わせ終わったあと、“メニュー/実行”ボタンを押して設定します。

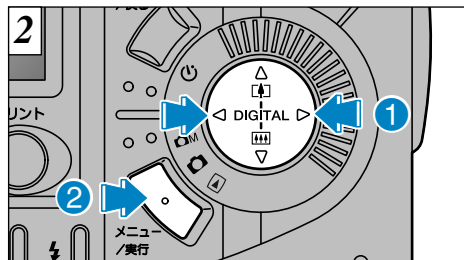
秒は設定できません。

時刻表示で“12:00:00”を越えると自動的にAM/PMが切り換わります。

時刻を正確に合わせたいときは、時報のゼロ秒時に“メニュー/実行”ボタンを押します。

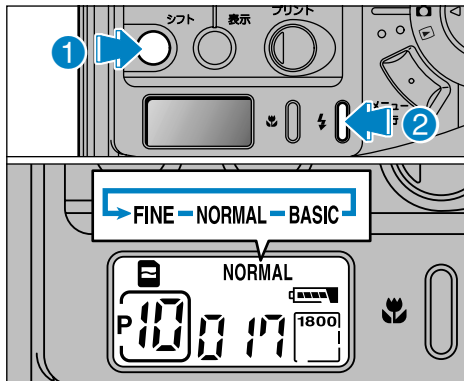
1

液晶モニターの明るさ調節

モードダイヤルを“ 、 M、 、 ”のいずれかにすると設定を変更できます。
❶“ シフト ”ボタンを押しながら❷“ 表示 ”ボタンを押すと、明るさ調節画面が表示されます。

❗液晶モニターがOFFでは設定を変更できません。
❗SETUP以外のモードで、液晶モニターがONの場合“ シフト ”ボタンを押すと操作ガイダンス（その状態で“ シフト ”ボタンを押して実行できる操作の案内）が表示されます。

❶十字ボタンの“ ◀ ▶ ”を押して明るさを調節します。
❷“ メニュー/実行 ”ボタンを押して決定します。

❗設定を変更しない場合は、“ キャンセル/戻る ”ボタンを押してください。

クオリティー（画質）設定

撮影の目的に合わせて、3種類の画質（クオリティー：圧縮率）を選べます。
画質によって標準撮影可能枚数が変わります。スマートメディアの標準撮影枚数については120ページをご参照ください。
画質を優先する場合は[FINE]を、コマ数を優先する場合は[BASIC]を選んでください。

モードダイヤルを“📷、📷M、⏱”のいずれかにすると設定を変更できます。
❶“シフト”ボタンを押しながら❷“⚡”ストロボボタンを押すと、[FINE] [NORMAL] [BASIC]が切り換わります。変更後の設定は液晶表示パネルに表示されます。

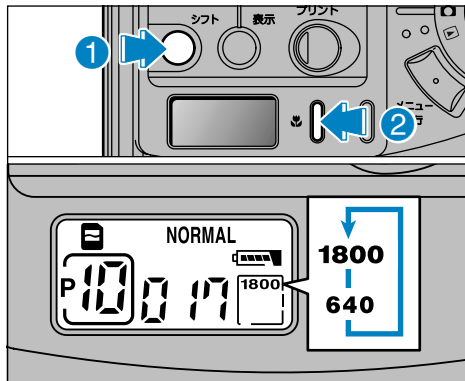
! SETUPモードでも設定を変更できます。

! 液晶モニターがONの場合、“シフト”ボタンを押すと操作ガイダンスが表示されます。

ピクセル（画素数）設定

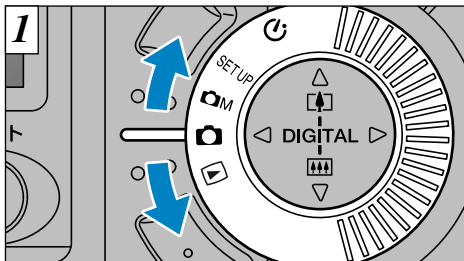
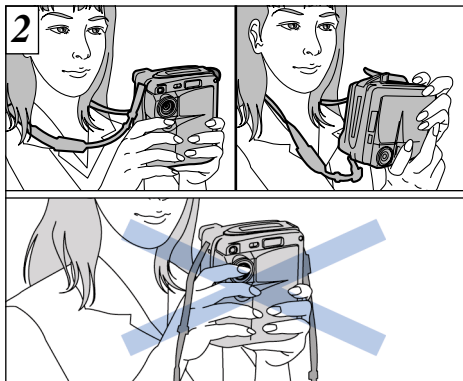
撮影の目的に合わせて、2種類の画素数（ピクセル/画像サイズ）を選べます。画素数によって標準撮影可能枚数が変わります。スマートメディアの標準撮影枚数については120ページをご参照ください。

（120ページ参照）

- **1800 ：1,800×1,200ピクセル**
- **640 ： 640× 480ピクセル**

モードダイヤルを“ 、 M、 ”のいずれかにすると設定を変更できます。
❶“シフト”ボタンを押しながら❷“ ”マクロボタンを押すと、［1800］［640］が切り換わります。変更後の設定は液晶表示パネルに表示されます。

! 液晶モニターがONの場合、“シフト”ボタンを押すと操作ガイダンスが表示されます。

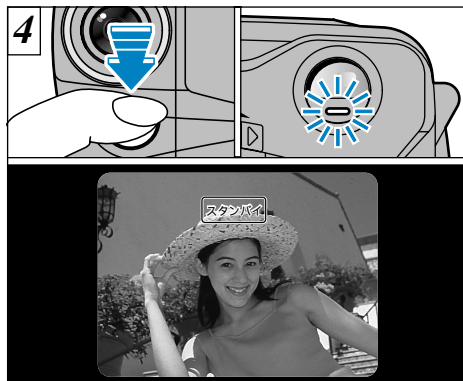
! SETUPモードでも設定を変更できます。

液晶モニターを使った撮影（オート撮影）

モードダイヤルを“ ”に合わせます。

ネックストラップを首にかけて、液晶モニターを正面から見るように、脇をしめて両手でプリンカムを構えます。レンズやストロボに、指やネックストラップがかからないようにしてください。

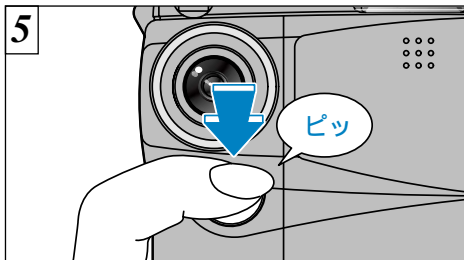
- 液晶モニターの日時が点滅表示された場合は、日時を設定してください（➡24ページ）。
- レンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は108ページを参照してレンズをきれいにしてください。
- 撮影するときプリンカムが動くと、画像がブレる原因となります。

AFフレーム

液晶モニターを見ながら、被写体がAF（オートフォーカス）フレーム全体を満たすようにねらいます。

! 液晶モニターが見にくい場合は、液晶モニターの明るさを調節してください（➡26ページ）。

シャッターボタンを半押しして液晶モニターに“スタンバイ”と表示（およびファインダーランプ[緑]が点滅から点灯）されたら、さらにシャッターボタンを押し込みます。

! シャッターボタンを全押しした場合は“スタンバイ”の表示は出ません。

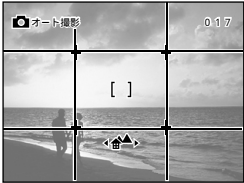
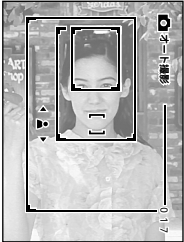
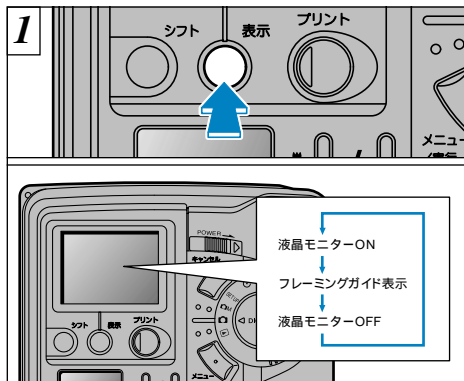
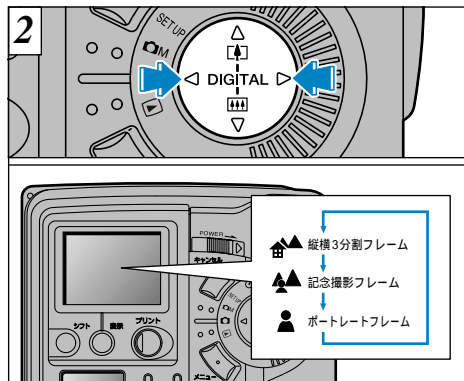
! 約50cm以内に近づくと“スタンバイ”と表示されてもピントが合いません。その場合は“🌷”マクロモードで撮影してください（➡49ページ）。

シャッターボタンを押すと、"ピッ"と音が鳴り撮影されます。続いてデータが記録されます。

- データ記録中はファインダーランプが橙色に点灯し、撮影できません。また、データ記録中は電源を切ったり、スロットカバーを開けないでください。
- ストロボ充電中はファインダーランプが橙色で点滅します。
- 被写体（画像の細かさなど）によって記録されるデータ量が一定ではないため、記録後の標準撮影可能枚数が減らないか、または2コマ減る場合があります。
- 暗くてピントが合わない場合は、被写体から1.5m以上離れて撮影してください。
- 警告表示については、114ページをご参照ください。

◆オートフォーカスの苦手な被写体◆

このプリンカムは、正確なオートフォーカス機構を採用していますが、次のような条件・被写体に対してはオートフォーカスが働きにくく、ピントが合わない状態で撮影されることがあります。

- 鏡・車のボディーなど光沢があるもの
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮のように光を反射しにくいもの
- 煙や炎などのように実体のないもの
- 被写体が遠くて暗いとき
- 被写体の明暗差がはっきりしないとき（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 被写体の手前や後方に物体が共存するとき（オリの中の動物や木の前の人物など）
- 高速で移動する被写体

2

ベストフレーミング機能

モードダイヤルが"📷、⏱"では、"表示"ボタンを押すごとに液晶モニターの表示が切り換わります。"表示"ボタンを押して"フレーミングガイド"を表示します。

十字ボタンの"◀ ▶"で3種類のフレーミングガイドを選択できます。フレーミングガイドは液晶モニターで撮影するときに、構図を決める際のめやすとなります。

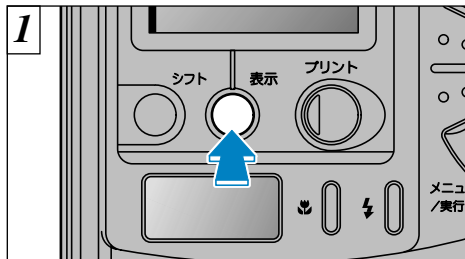
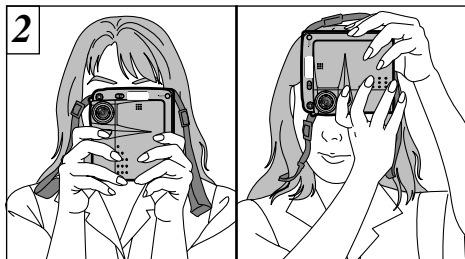
❗ フレーミングガイドは画像に記録されません。

縦横3分割フレーム	記念撮影フレーム	ポートレートフレーム (人物縦位置撮影フレーム)
主要な被写体を縦横の交点に配置したり、横のラインに地平線や水平線を合わせて使用します。 被写体の大きさやバランスを見ながら、躍動感のある構図で撮れるもっとも応用の効くフレームです。	2人以上の記念撮影に使用します。 被写体をフレームの中にできるだけ大きく配置すると、表情をはっきり写し込んだ写真になります。 	ポートレート撮影の基本的な撮影に使用します。 顔の大きさを各フレームに合わせることにより、大きなフレームはアップ、中ぐらいのフレームは胸から上、小さなフレームは半身の撮影になります。

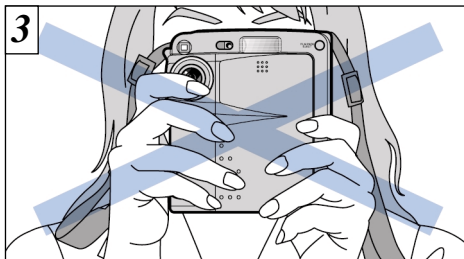
! 縦横3分割フレームのラインは、縦横の記録画素数の3分割のめやすです。プリントすると、3分割の位置から少しずれる場合もあります。

◆重要◆

必ずAFロック(➡37ページ)を使って構図を決めてください。AFロックをしないとピントが合わないことがあります。

ファインダー撮影（省電力撮影）

撮影時（マクロ撮影を除く）に“表示”ボタンを押して、液晶モニターをOFFにします。液晶モニターONの場合と比べ、電池撮影可能枚数が約3倍になります（➡23ページ）。

ネックストラップを首にかけて、両脇をしめ、両手でしっかり構えます。縦位置撮影ではストロボが上にくるように構えます。

約50cm～無限遠の撮影が可能です。約50cmより近づいた撮影にはマクロモードを使用してください（➡49ページ）。

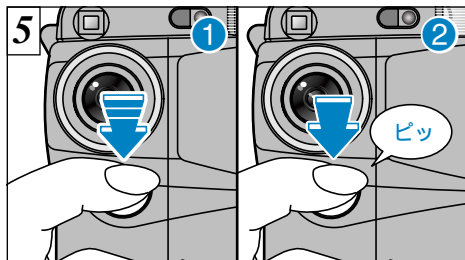
レンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は108ページを参照してレンズをきれいにしてください。

レンズやストロボに、指やネックストラップがかからないようにしてください。

AFフレーム

ファインダーをのぞき、被写体がAFフレーム全体を満たすようにねらいます。

2

! ピクセル設定が［640］（640×480ピクセル）では、ファインダーで見るよりも上下が広く撮影されます。撮影範囲を正確に合わせたい場合は、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。

! 被写体がAFフレームから外れてしまう場合は、AFロック撮影を行ってください（➡37ページ）。

❶シャッターボタンを半押ししてファインダーランプ［緑］が点滅から点灯に変われば、ピント合わせは完了です。
❷半押しのままさらにシャッターボタンを押すと、“ピッ”と音が鳴り撮影されます。続いてデータが記録されます。

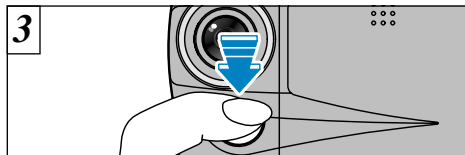
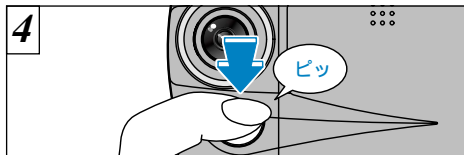
◆ファインダーランプ表示について

色	状 態	内　　容
緑	点 灯	準備完了
	点 滅	AF・AE動作中または手ブレ・AF警告
橙	点 灯	スマートメディアに記録中
	点 滅	ストロボ充電中
赤	点 滅	●スマートメディアについての警告 未挿入、未フォーマット、フォーマット異常、ライトプロテクトシールがはられている、空き容量がない、スマートメディア異常 ＊液晶モニターONでは、液晶モニターに詳しい警告が表示されます（➡114ページ）。

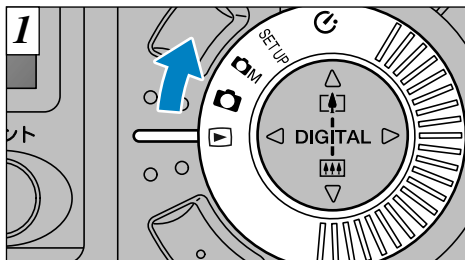
❗データ記録中はファインダーランプが橙色に点灯し、撮影できません。また、データ記録中は電源を切ったり、スロットカバーを開けないでください。
❗ストロボ充電中はファインダーランプが橙色で点滅します。

AF（オートフォーカス）ロック撮影

このような構図では被写体（この場合は人物）がAFフレームから外れています。

被写体がAFフレームに入るようにプリンカムを動かします。

そのままシャッターボタンを半押し（AFロック）し、液晶モニターに“ スタンバイ ”と表示（ファインダーランプ［緑］が点滅から点灯）されるのを確認します。

シャッターボタンを半押し（AFロック）のまま最初の構図に戻して、さらにシャッターボタンを押します。

- AFロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。
- AFロック撮影は、どのような撮影方法でも有効です。AFロックをうまく活用しましょう。

▶ 画像を見るには（再生）

モードダイヤルを“▶”に合わせます。

- モードダイヤルを“▶”に合わせたときは、最後に撮影した画像が表示されます。
- このとき液晶表示パネルには“Pb”（プレイバック）と表示されます。
- 液晶モニターが見にくい場合は、液晶モニターの明るさを調節してください（➡26ページ）。
- 表示ボタンを1回押すと、液晶モニターの文字表示が消えます。

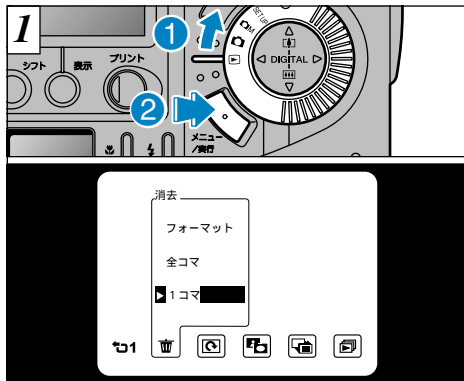
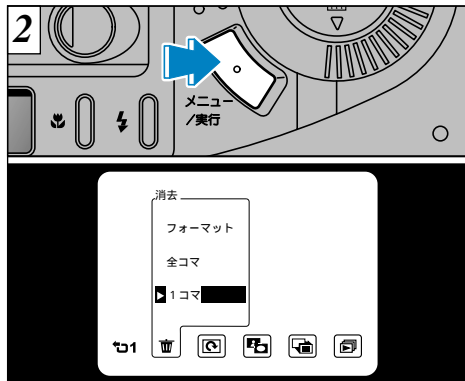
十字ボタンの“▶”順送り、“◀”逆送りで画像を見ることができます。

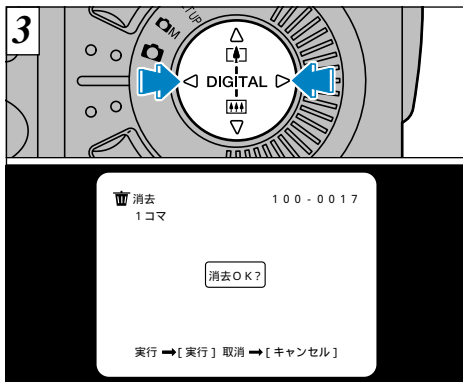
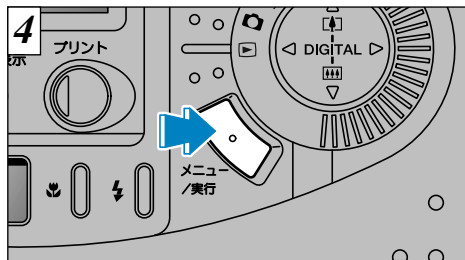
- “◀▶”を約3秒間押し続けると、液晶モニターに早送り“ ”の表示が出ます。

2

◆再生できるデータについて◆

本機で記録した画像データ、または弊社製デジタルカメラ FinePixシリーズ、CLIP-IT80/50、DS-30/20/10およびDS-260HD／250HD、あるいはその他のDCF対応カメラ（320×240～1800×1200ピクセル）で、3.3V仕様のスマートメディアに記録した画像データが再生できます（非圧縮画像の再生はできません）。

▶ → 🗑 画像を消すには（1コマ消去）

❶モードダイヤルを“ ▶ ”に合わせ、❷“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと液晶モニターにメニューが表示されます。

“ 🗑 消去 ”の“ 1コマ ”が選択された状態で、“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

! 全コマ/フォーマットについて、詳しくは61〜62ページをご参照ください。

十字ボタンの“ ◀ ▶ ”を押して消去したい画像を表示します。

“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと、表示している画像が消去されます。消去が終わると次の画像が再生され、“ 消去OK? ”が表示されます。

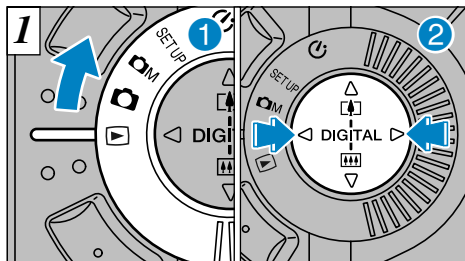
! 途中でキャンセルしたい場合は、“ キャンセル/戻る ”ボタンを押してください。

! 消去を続けるには、3からの操作を繰り返します。

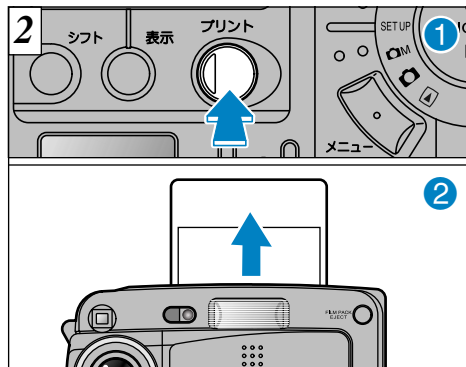
! “ PROTECT ”が表示された場合、プロテクトを解除する必要があります(➡74ページ)。

! “ DPOF指定されていますが消去しますか? ”が表示された場合は、DPOF指定されています。“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと画像を消去し、DPOF指定が更新されます。

2

プリントするには

❶モードダイヤルを “ ▶ ” に合わせます。
❷十字ボタンの “ ◀ ▶ ”でプリントしたい画像を表示します。

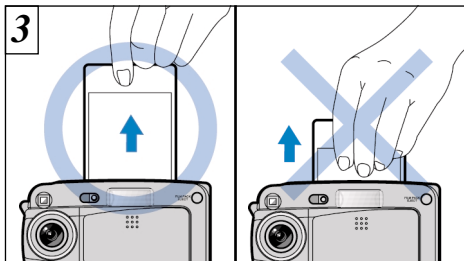
- プリント中はプリント出口の前に、物などを置かないでください。フィルムが排出されず、フィルム詰まりの故障になります。
- プリント中にスロットカバーを開けると電源が切れ、プリント中のフィルムが排出されます。フィルムは、正常にプリントされない場合があります。

再生について詳しくは58～87ページをご参照ください。

❶“ プリント ”ボタンを押します。❷約35秒後にプリントしたフィルムが送り出されます。

プリント中はプリンカムを振ったり、衝撃（振動）を与えないでください。

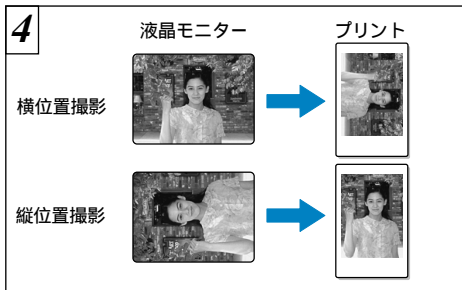
プリントランプはプリントできる状態のときは点灯、プリント中は点滅します。

フィルム排出途中/排出直後に突然電源が切れた場合は、22ページの電池残量❷表示が出ないことがあります。新しい電池に交換して再び電源を入れてください。

3

プリントを取り出すときはモーター音が止まってから、プリント先端をつまんでプリント出口から取り出します。

プリントランプ点滅中はプリントを無理に引き出さないでください。
また、プリントしたばかりのプリント画面内を強く押さえたり、プリントを振ったりしないでください。折り曲げや傷、画像ムラの原因となります。

! もし、フィルムが詰まった場合は、119ページをご参照ください。

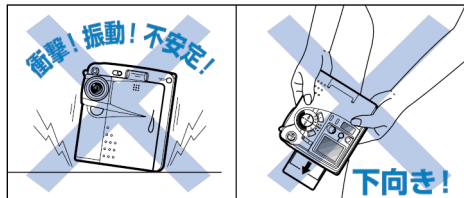
! プリントしたフィルムは必ず1枚ずつ、取り出してください。フィルム詰まりの原因となります。

撮影した画像とプリントの仕上がり方向は図のようになります。
他のデジタルカメラの縦位置撮影方法は、本機での推奨方法と異なる場合があります。他のデジタルカメラで撮影したスマートメディアを本機に入れてプリントする場合は、あらかじめ向きをご確認ください。

プリント画像は、プリント排出後約30秒～60秒で徐々に現れます。

2

良好なプリントを得るには

プリンカムはスキャン露光方式のため、シーンによってはプリントむらがわずかに見えることがあります。

プリント中に衝撃や振動などのショックを与えたり、プリント出口を水平より下向きにすると画質の劣化を生じる可能性があります。
プリントの際は、衝撃や振動などのショックの無い安定した場所にプリント出口を上に向けて置いてから“プリント”ボタンを押し、プリントが終わるまで本体に触れないでください。
また、手持ちでプリントする場合はプリント出口を水平より上に向け、衝撃や振動などのショックを与えないように注意してください。
プリント中のショックによりプリント画質が劣化した場合は、ショックを与えない状態でもう一度プリントしてください。

◆きれいなプリントを得るための温度範囲について

プリント最適温度範囲
＋10℃〜＋35℃

- プリントに使用するフィルム「フジフイルムインスタントカラーフィルム　instax mini（インスタックスミニ）」は、＋10℃〜＋35℃の温度範囲で仕上がりの良いプリントが得られるように設計されています。
- 約0℃〜約＋10℃，約＋35℃〜約＋45℃の温度範囲でプリントボタンを押すと、液晶モニターに「フィルム温度範囲外です」が表示されます。
  できるだけプリントを行わないことをおすすめしますが、どうしてもプリントが必要な場合はプリントボタンを押すとプリントできます。
  プリントを取りやめる時は、キャンセルボタンを押してください。
- 「フィルム温度範囲外です」表示は、プリンカム内部の温度をもとに表示しますので、外気温とは一致しない場合があります。

・・・・0℃	+10℃		+35℃	+45℃・・・・
禁 止	可 能	最 適	可 能	禁 止

◆プリントの仕上がり◆

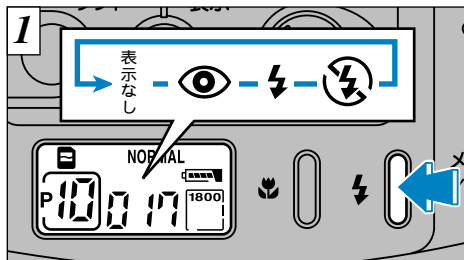
フィルムは+10℃〜+35℃の温度でご使用いただくと、良い画質が得られます。気温が低いところでは送り出されたプリントを、ただちに胸ポケットの中などで約30秒間温めてください（ただし、画面内を強く押さえないこと）。

美しいプリントは
“初めの30秒間の温度”が大切です。
また、画像が出来上がるまでは直射日光を避けてください。

プリント禁止温度範囲
0℃未満、＋45℃を超えて

- **本機では、プリント動作を0℃〜＋45℃の範囲で設定しています。**
- **0℃未満，＋45℃を超す温度範囲でプリントボタンを押すと、液晶モニターに「温度範囲外です。プリントできません」と表示されプリントを行いません。**
- **「温度範囲外です。プリントできません」表示は、プリンカム内部の温度をもとに表示しますので、外気温とは一致しない場合があります。**

2

送り出された直後のプリントは、熱い砂やコンクリートの上、ストーブの近くなどに置かないでください。

ストロボモード

撮影の目的に合わせて、4種類のストロボモードを選べます。
“ϟ”ストロボボタンを押すたびに、液晶表示パネルにオート（表示なし）→◉→ϟ→ϟ̸ の順に表示され、最後に表示したモードが選択されます。

オートストロボモード（表示なし）

一般的な撮影に使用します。撮影状況に応じて、ストロボが自動的に発光します。

! スローシンクロ撮影は54ページをご参照ください。

! マクロモードでは選べません。

赤目軽減ストロボモード

暗いところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。
撮影前にストロボが1回プレ発光し、2回目に撮影のためのストロボが発光します。

◆赤目現象について◆

人物を暗いところでストロボ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これは、ストロボの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするために、赤目軽減ストロボモードを積極的にご利用ください。
赤目軽減ストロボモードを使用するとともに、

- 撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう
- なるべく近付いて撮影する

などするとより効果的です。

ストロボ強制発光モード

窓際や木陰などの逆光撮影、蛍光灯などの照明の下で適正な色に撮りたいときに使用します。明るいところでもストロボ撮影が行われます。

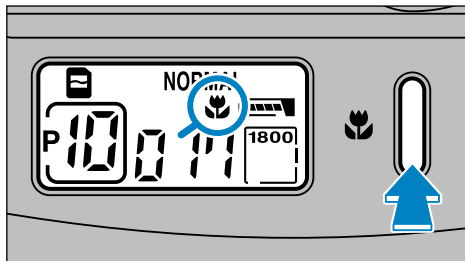
ストロボ発光禁止モード

ストロボの発光を禁止します。
室内照明を利用しての撮影、舞台や室内競技などのストロボ光が届かない距離での撮影などに使用します。この場合、オートホワイトバランス（➡107ページ）が働き、周囲光の雰囲気を残しつつ自然な色に撮ることができます。

! 暗い場所で発光禁止モードで撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。また、暗くてピントが合わない場合は、被写体から1.5m以上離れて撮影してください。

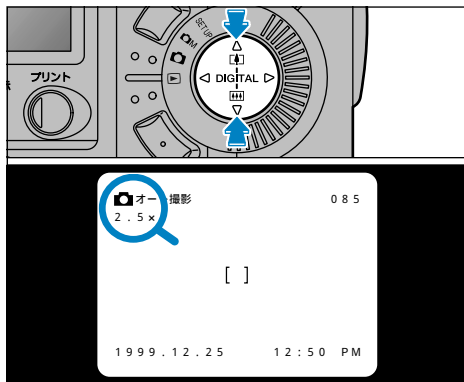
! 手ブレ警告については、36ページ、115ページをご参照ください。

マクロモード（近距離撮影）

マクロモードでは、約9cm〜約50cmの範囲で近距離撮影ができます。また、ストロボモードが“オート”のときはストロボは自動的に“発光禁止”に設定されます。

“ ”マクロボタンを押すと液晶表示パネルに“ ”が表示され、マクロモードになります。もう一度“ ”マクロボタンを押すと、マクロモードが解除されます。

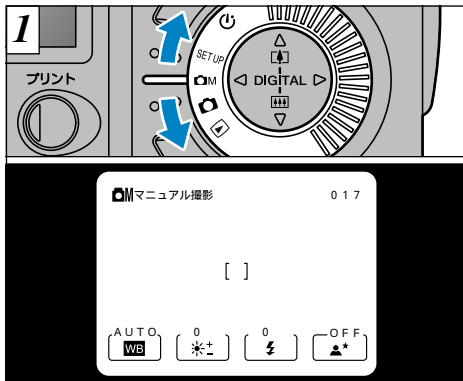
- 暗い場所で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。
- ストロボを発光させる場合は“ ”ストロボボタンを押して“ 強制発光”または“ 赤目軽減”に設定してください。ストロボの明るさの補正は、マニュアル撮影モード（➡54ページ）で可能です。また、オートストロボは使用できません。
- マクロモードでファインダーを使うと、ファインダー窓とレンズの位置が違うため、実際に見える範囲と写る範囲にズレが生じます。そのため、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。

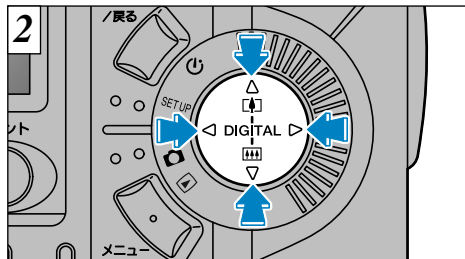
- 液晶モニターは自動的にONになります。
- マクロモードを解除すると、ストロボはマクロモードにする前に設定していたモードに戻ります。

デジタル拡大撮影

撮影時（すべての撮影モード）に、"▲ [⍋]"を1回押すと1.2倍（1.2×）、もう1回押すと2.5倍（2.5×）に画面中央部分を拡大して撮影することができます。拡大倍率は液晶モニターに表示されます。"▼ [⍋⍋⍋]"を2回押すと、通常の撮影に戻すことができます。

- ピクセル設定が［1800］でデジタル拡大撮影した場合、
  1.2×：1,280×1,024ピクセル
  2.5×：　640×　480ピクセル
  で記録されます。
- ピクセル設定が［640］の場合は、拡大撮影しても記録画素（ピクセル）数は変化しません。

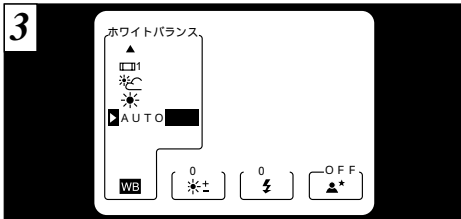
! 液晶モニターがOFFのときには、デジタル拡大撮影はできません。

! ピクセル設定［1800］のときの倍率は、縦方向のピクセル数を基準としています。

1 モードダイヤルを“ M ”に合わせます。設定メニューが表示されます。

表示ボタン ” を押すと、映像が消えて設定メニューのみ表示されます。もう一度押すと映像が表示されます。

2 “◀ ▶”でメニューを移動し、“▲▼”で項目を選びます。

◆工場出荷設定

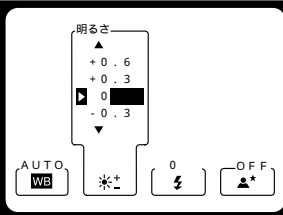
メニュー	設定値
WB ホワイトバランス	AUTO
明るさ（露出補正）	0
ストロボの明るさ補正	0
夜景（スローシンクロ）	OFF

＊上記設定はオート撮影と同等の設定です。

WB ホワイトバランス

撮影時の環境・照明光に合わせ、ホワイトバランスを固定して撮影を行いたい場合に設定を変更します。
AUTO時は、人物の顔アップなどの被写体や特殊な光源下では、正しいホワイトバランスが得られない場合があります。その場合は光源に合わせたホワイトバランスを選択してください。ホワイトバランスについては107ページをご参照ください。

! すぐ撮影したい場合は、“ メニュー/実行 ”ボタンを押して決定してください。

AUTO ：**自動調整（光源の雰囲気を残した撮影）**
☀ ：**晴れた屋外での撮影**
（日陰） ：**日陰での撮影**
（蛍光灯）1 ：**青っぽく写る蛍光灯下での撮影**
（蛍光灯）2 ：**赤っぽく写る蛍光灯下での撮影**
（電球） ：**電球、白熱灯下での撮影**

＊ストロボ発光時は、ホワイトバランス設定は無効になりますので、意図した撮影の場合ストロボを発光禁止にしてください。

明るさ（露出補正）

被写体と背景のコントラスト（明暗の差）がきわめて大きい場合など、適正な明るさ（露出）が得られないときに使用します。

- **補正範囲は9段（－0.9～＋1.5EV，約0.3EVステップ）です。EVについては107ページをご参照ください。**

次のような被写体のとき効果があります

＋（プラス）補正

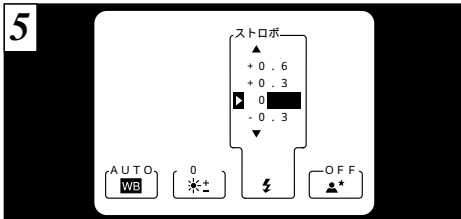
- 白っぽい紙に黒い文字の印刷物の複写（＋1.5EV）
- 逆光の人物撮影（＋0.6～＋1.5EV）
- スキー場などの明るい場面や反射の強い場合（＋0.9EV）
- 画面内を空の部分が大きく占める場合（＋0.9EV）

－（マイナス）補正

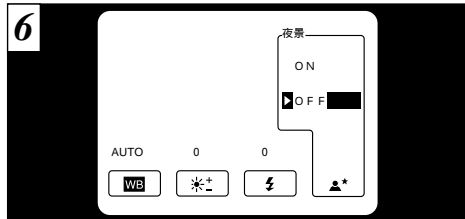
- スポットライトを浴びた人物、特にバックが暗い場合（－0.6EV）
- 黒っぽい紙に白い文字の印刷物の複写（－0.6EV）
- 常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合（－0.6EV）

＊（　）内は補正のめやすです。

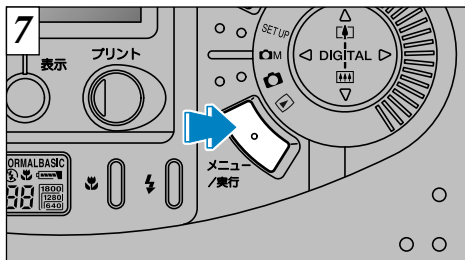
次のような状態では、明るさ設定が無効になります。

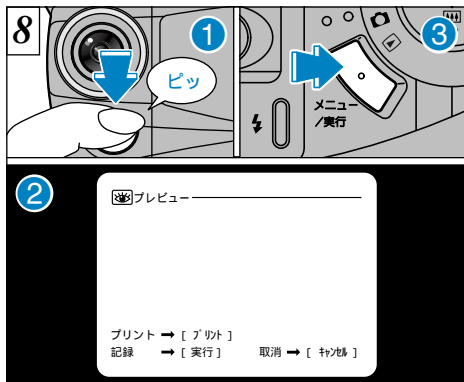
- オートまたは赤目軽減モードでストロボが発光したとき
- 強制発光モードで撮影シーンが暗いとき

ストロボの明るさ補正

被写体が画面内で極端に小さい場合や、近距離でストロボ撮影する場合など、適正な明るさにならないときに使用します。

- 補正範囲は±2段（−0.6～+0.6EV、約0.3EVステップ）です。

夜景（スローシンクロ）

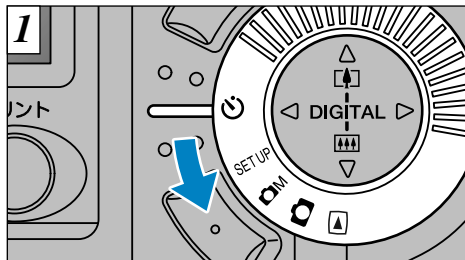
スローシャッター（1/4秒）のストロボ発光モードです。
夜景を背景にした人物を撮影するときや、室内照明を利用した背景や周囲を明るく雰囲気のある撮影に使用します。

! スローシャッターになりますので、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。
! 暗くてピントが合わない場合は、被写体から1.5m以上離れて撮影してください。

メニューを設定し終わったら、“ メニュー/実行 ” ボタンを押して決定します。設定した内容は電源を切っても保持されます。

電池を長時間取り出したままにしたり、設定中に電池を取り出したりすると、各種設定が工場出荷設定に戻ることがあります。

❶シャッターボタンを押して撮影します。
❷撮影結果がプレビュー画面に表示されます。
❸画像を記録したい場合は、“ メニュー/実行 ” ボタンを押してください。

プリントする場合➡88ページ参照

意図した撮影結果でない場合、“ キャンセル/戻る ”ボタンを押すとスマートメディアに記録されません。もう一度撮影し直してください。

3

セルフタイマー撮影

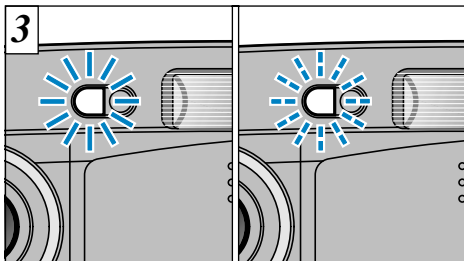
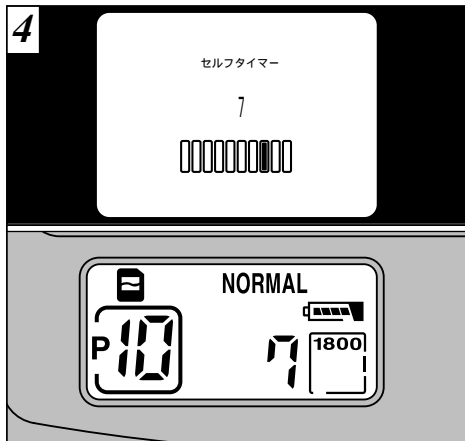
モードダイヤルを“ ”に合わせます。

被写体にAFフレームを合わせ、シャッターボタンを押すとAFフレーム内に見えるものにピントが合い、セルフタイマーがスタートします。

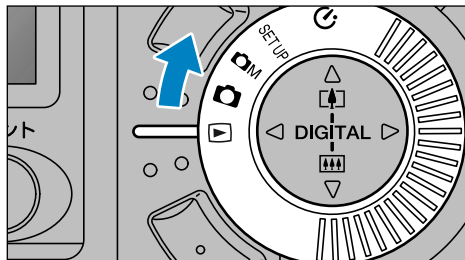
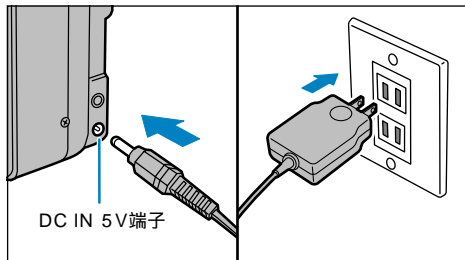
❗ レンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は、108ページを参照してレンズをきれいにしてください。

❗ “ベストフレーミング機能”の使用も可能です(➡32ページ)。

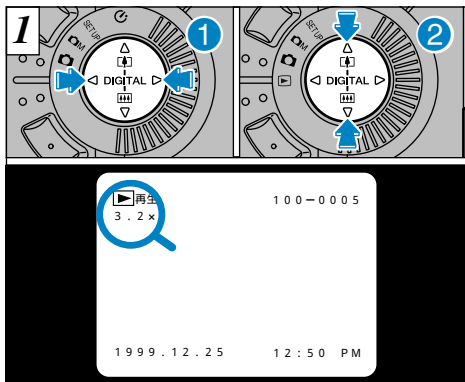
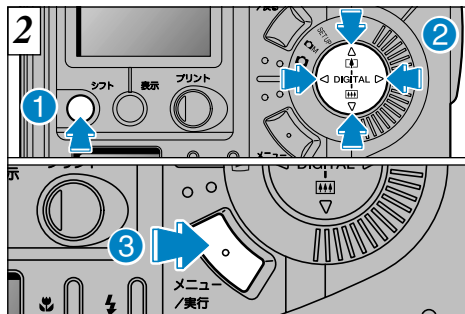
❗ AFロック撮影も可能です(➡37ページ)。

❗ プリンカムの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピンボケや適正な明るさ(露出)にならないことがあります。

セルフタイマーランプが約5秒間点灯したのち点滅に変わり、さらに約5秒後に撮影されます。

撮影されるまでの間、液晶モニターと液晶表示パネルにカウントダウン表示されます。

スタートしたセルフタイマー撮影は、“キャンセル/戻る”ボタンを押すと解除できます。

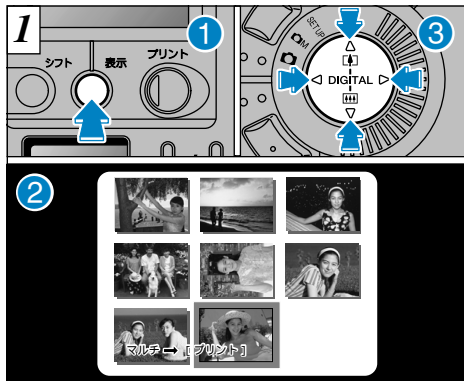
応用編 再生では

ここでは、モードダイヤルを“ ▶ ”に合わせた状態で行えるいろいろな機能を紹介します。このあとの操作説明は、モードダイヤルが“ ▶ ”に合っていることを前提に説明します。

また、コンセントが近くにある場合は、画像を再生したりエフェクトをかけている最中に電源が切れないように、ACパワーアダプターAC-PR/5V（別売）の使用をおすすめします（➡22ページ）。

スマートメディアに1000コマを超える画像が記録されている場合は、15ページをご参照ください。

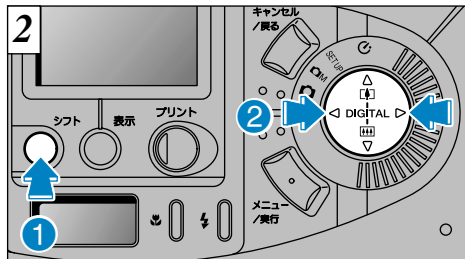
再生ズーム

❶“ ◀ ▶ ”でズームしたい画像を表示します。
❷“ ▲ ▼ ”を押してズーム倍率を設定します。

ズームしたあとに、❶“ シフト ”ボタンを押しながら❷“ ▲ ▼ ◀ ▶ ”を押すと、見える範囲を移動できます（ズーム送り）。❸“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと、液晶モニターに見えている範囲が640×480のサイズで記録されます。

プリントする場合➡88ページ参照

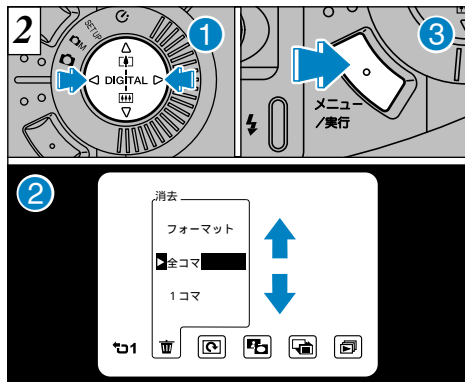
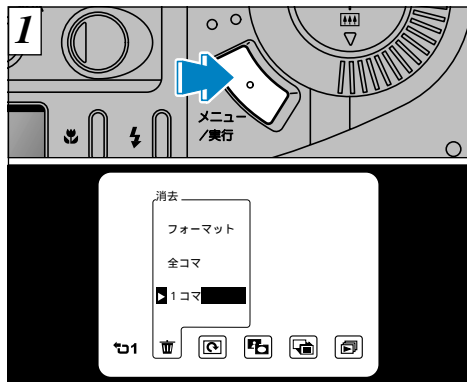
- ズーム倍率は0.2×ステップで4.0×までです。ただし、640×480ピクセルの画像は2.0×までです。
- ズーム中に“ ◀ ▶ ”を押すと、ズームが解除され次の画像に送られます。
- “ キャンセル/戻る ”ボタンを押すと、表示が等倍に戻ります。
- “ シフト ”ボタンを押すと操作ガイダンスが表示されます。

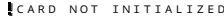
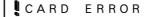
4

マルチ再生

❶再生中に"表示"ボタンを2回押します。
❷マルチ再生(9コマ/ページ)になります。
❸"▲▼◀▶"でコマを選べます。選んだ画像を大きく見たい場合は、もう一度"表示"ボタンを押してください。

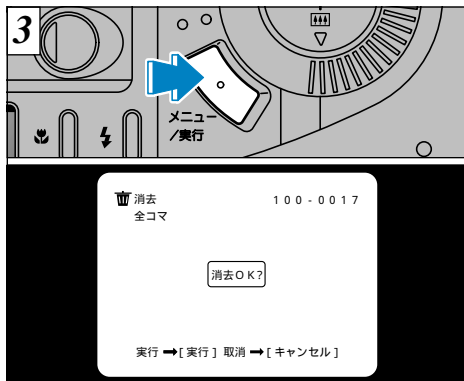
! 液晶モニターの文字表示は、約3秒後に消えます。連続表示はできません。
! 再生ズーム中はマルチ再生はできません。

撮影した画像が9コマ以上ある場合、❶"シフト"ボタンを押しながら❷"◀▶"を押すと、すぐにページを切り換えて表示できます。

プリントする場合➡88ページ参照

! "シフト"ボタンを押すと操作ガイダンスが表示されます。
! マルチ再生は、1コマ消去、1コマプロテクト、DPOFコマ設定、DPOF確認/解除で画像を選択する場合に便利です。DPOFでは"▲▼"で画像を選択できません。

全コマ消去/フォーマット

“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと液晶モニターにメニューが表示されます。

❶“ ◀ ▶ ”で“ 消去 ”を選びます。
❷“ ▲▼ ”で“ 全コマ ”か“ フォーマット ”を選びます。
❸“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

1コマ消去は40ページをご参照ください。

フォーマットするとすべての画像が消去されます。

実行を確認する画面が表示されます。OKなら“メニュー/実行”ボタンを押して実行します。

●**全コマ消去**

すべての画像を消去します。

＊プロテクト（➡74・76ページ）した画像は残ります。

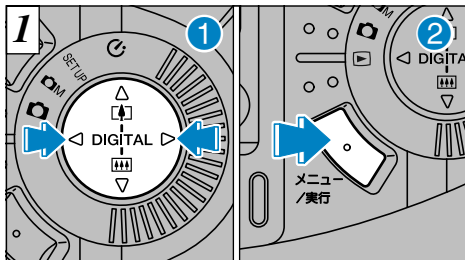
●**フォーマット**

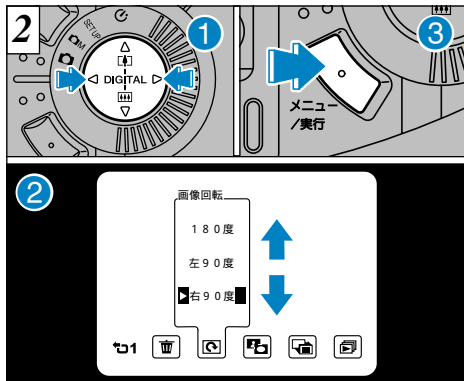
すべてのデータを消去してこのプリンカム用に作り直します（初期化）。

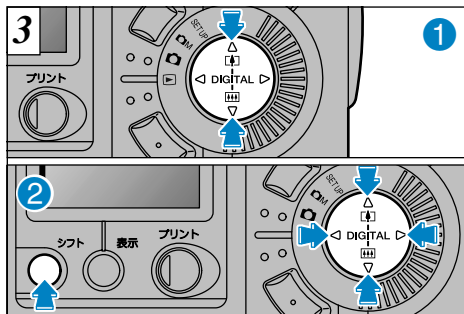
“CARD NOT INITIALIZED” や “CARD ERROR” **と表示された場合に使用します。**

＊プロテクトした画像も消えます。

途中でキャンセルしたい場合は、“キャンセル/戻る”ボタンを押してください。

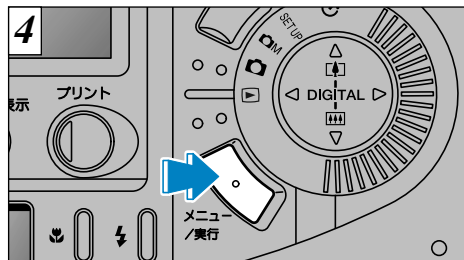
“CARD ERROR”が表示された場合は、まずスマートメディアの接触面（金色の部分）を乾いた柔らかい布などで軽くふいてから、再セットしてください。それでも表示される場合は、フォーマットをします。

画像回転

❶"◀▶"で回転したい画像を液晶モニターに表示します。
❷"メニュー/実行"ボタンを押すとメニューが表示されます。

❶"◀▶"で"画像回転"を選びます。
❷"▲▼"で"右90度"か"左90度"または"180度"を選びます。
❸"メニュー/実行"ボタンを押します。

❗"CARD FULL"や"PROTECTED CARD"と表示された場合は作動しません。不要な画像を消去するか、スマートメディアのプロテクトを解除してください。

画像回転

回転した画像が表示されます。左右に余白がある場合は、

❶“▲▼”でズームします。

❷“シフト”ボタンを押しながら“▲▼◀▶”を押すと、見える範囲を移動できます。

“メニュー/実行”ボタンを押すと液晶モニターに見えている画像が、640×480のサイズで記録されます。

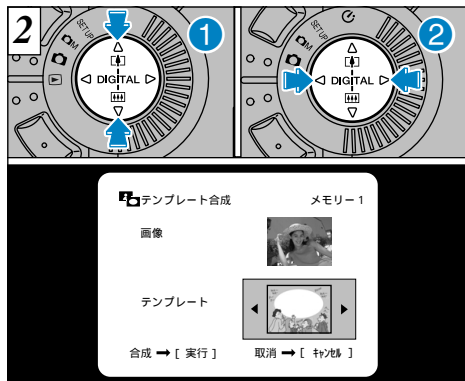
プリントする場合➡88ページ参照

❗画像回転しない場合は、“キャンセル/戻る”ボタンを押してください。

❗画像回転後に記録した画像を再度回転すると画質が劣化します。

❗画像とプリントの仕上がり方向は43ページを参照ください。

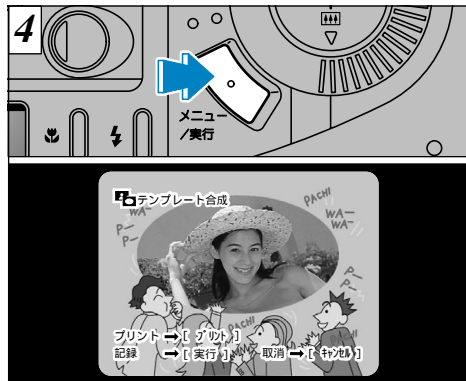
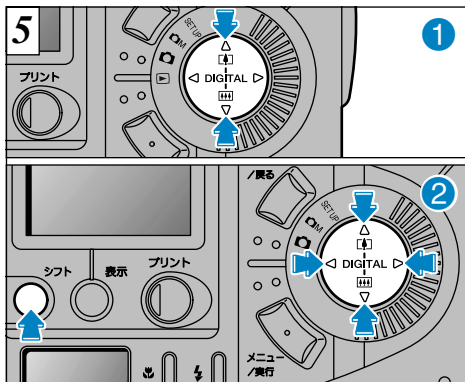
テンプレート（飾枠）合成

❶“メニュー／実行”ボタンを押すとメニューが表示されます。
❷“◀ ▶”で、“テンプレート合成”を選択します。
❸“メニュー／実行”ボタンを押します。

画像とテンプレートの選択画面が表示されます。
❶“▲▼”で選択カーソルを移動します。
❷“◀ ▶”で合成したい“画像”と、“テンプレート”を選択します。

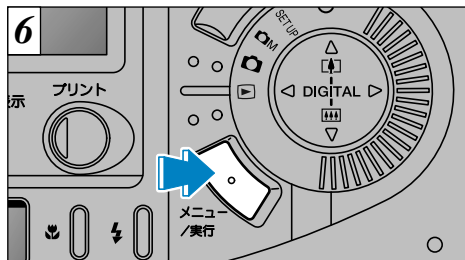
❗“ CARD FULL ”“ PROTECTED CARD ”と表示された場合は作動しません。不要な画像を消去するか、スマートメディアのプロテクトを解除してください。

❗工場出荷時に3種類のテンプレートが登録されています。テンプレートの登録については、95ページを参照ください。

テンプレート(飾枠)合成

画像とテンプレートの選択には、" 表示 " ボタンを押してマルチ再生(➡60ページ)すると便利です。スマートメディア内にテンプレートがあった場合、メモリー内のテンプレートに続いて次ページに表示されます。

合成画像が決まったら、" メニュー/実行 " ボタンを押します。液晶モニターに、合成された画像が表示されます。

はめ込み画像のズーム・トリミングができます。

❶“ ▲▼ ”でズームします。

❷“ シフト ”ボタンを押しながら“ ▲▼◀▶ ”を押すと、見える範囲をトリミングできます。

気に入った合成ができたら、“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。合成画像が640×480のサイズで記録されます。

プリントする場合➡88ページ参照

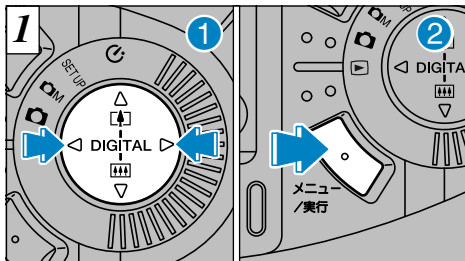
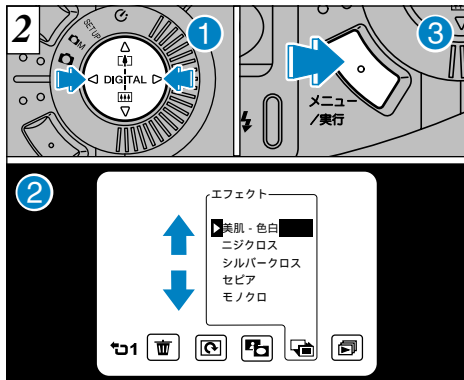
! テンプレートはズーム・トリミングできません。

! 合成を取り消す場合は、“ キャンセル／戻る ”ボタンを押してください。

エフェクト（加工）機能

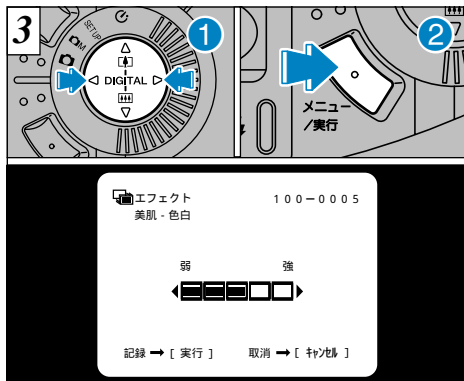
撮影済みの画像にエフェクトをかけると、独自の画像を作り出せます。自動的に別の画像として記録されるので、エフェクトをかける前の画像も残せます。

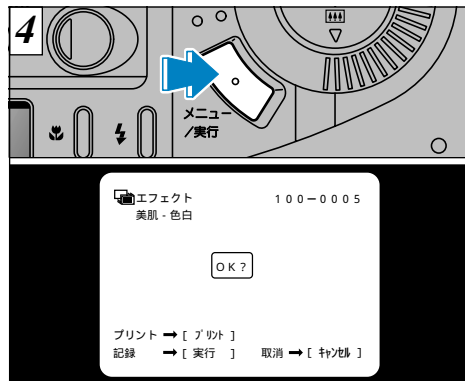
- モノクロ　　　：黒白の画像にします。
- セピア　　　　：セピア色の画像にします。
- シルバークロス：輝いている効果を出します。
- ニジクロス　　：虹色に輝いている効果を出します。
- 美肌ー色白　　：肌の色が暗く写った画像を明るくキレイにします。

エフェクトをかけた画像を記録するには、スマートメディアに十分な空き容量が必要です。

❶“ ◀ ▶ ”でエフェクトをかけたい画像を液晶モニターに表示します。
❷“ メニュー/実行 ”ボタンを押すとメニューが表示されます。

❶“ ◀ ▶ ”で“ エフェクト ”を選びます。
❷“ ▲▼ ”で実行したい種類を選びます。
❸“ メニュー/実行 ”ボタンを押します（美肌以外を選んだ場合 4 へ）。

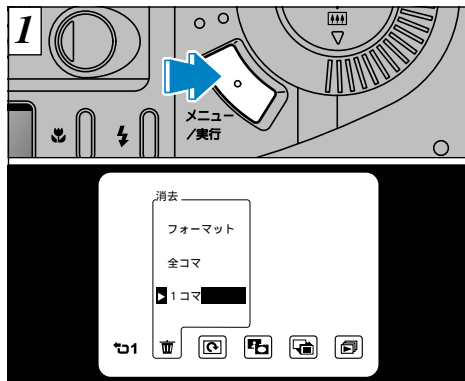
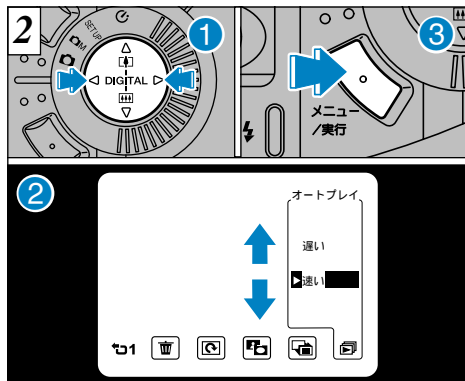
4

“ CARD FULL ” “ PROTECTED CARD ”と表示された場合は作動しません。画像を消去するかプロテクトされていないスマートメディアを使用してください。

エフェクト（加工）機能

〈美肌を選んだ場合〉

❶“ ◀ ▶ ”でエフェクトの強弱を設定します。
❷“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

エフェクトのかかった画像が表示されます。記録する場合は“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。画像は別ファイルで記録されます。

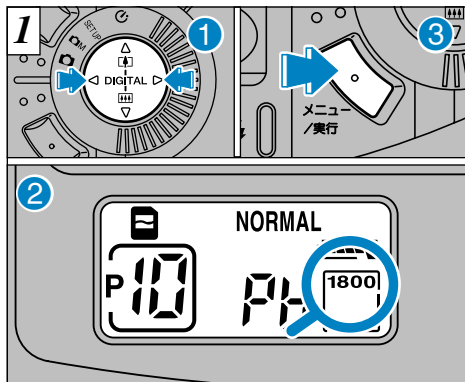
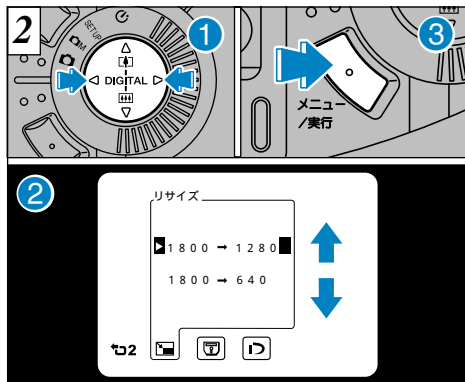
プリントする場合➡88ページ参照

再生メニュー オートプレイ（自動再生）

“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと液晶モニターにメニューが表示されます。

❶“ ◀ ▶ ”で“ オートプレイ ”を選びます。
❷“ ▲▼ ”で“ 速い ”か“ 遅い ”を選びます。
❸“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。画像が自動的にコマ送りされて再生されます。

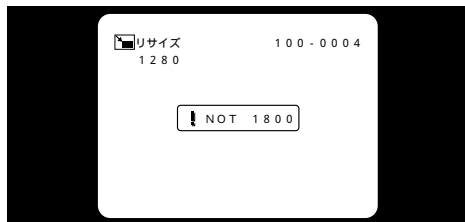
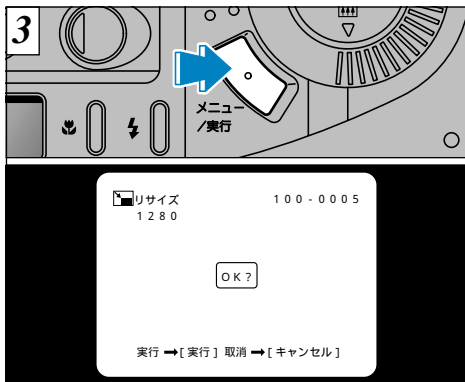
! オートプレイ中はプリントできません。
! “ 表示 ”ボタンを1回押すと、液晶モニターに日付・時刻以外の文字表示が現れます。
! 途中で止めたい場合は、画像が表示されているときに“ キャンセル/戻る ”ボタンを押してください。

! オートプレイ中はオートパワーオフしません。

4

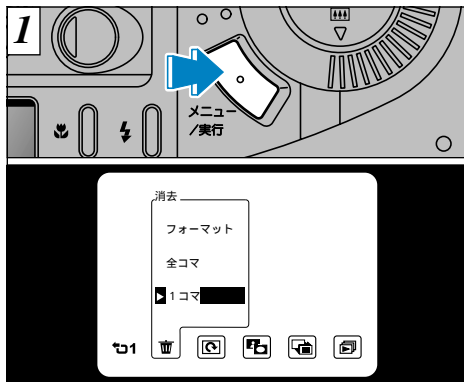
再生メニュー リサイズ（縮小）

❶"◀ ▶"でリサイズしたい画像を液晶モニターに表示します。
❷液晶表示パネルで、画像サイズが［1800］であることを確認します。
❸"メニュー/実行"ボタンを押すとメニューが表示されます。

❶"消去"選択時に"◀"を押して"2"を表示します。"リサイズ"を選びます。
❷"▲▼"で"1800➡1280"か"1800➡640"を選びます。
❸"メニュー/実行"ボタンを押します。

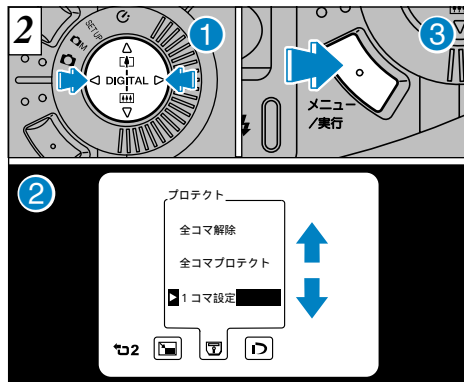
❗"リサイズ"選択時に"◀"を押すと"1"に戻ります。
❗"CARD FULL""PROTECTED CARD"と表示された場合は作動しません。画像を消去するかプロテクトされていないスマートメディアを使用してください。

実行を確認する画面が表示されます。OKなら“メニュー/実行”ボタンを押して実行します。画像は別ファイルで記録されます。

“NOT 1800”と表示された場合は、撮影した画像サイズが［1800］ではありません。リサイズできるのは、ピクセル設定が［1800］で撮影されている画像のみです。

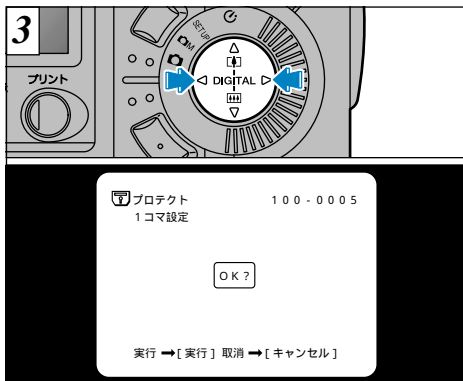
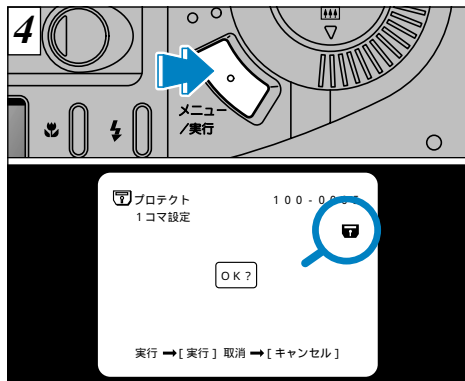
4

リサイズしない場合は“キャンセル/戻る”ボタンを押してください。

1コマプロテクト設定（消去防止）/解除

“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと液晶モニターにメニューが表示されます。

プロテクトとは：
画像を誤って消去しないように設定することです。

❶“ 消去 ”選択時に“ ◀ ”を押して“ 2 ”を表示します。さらに“ ▶ ”を押して“ プロテクト ”を選びます。
❷“ ▲▼ ”で“ 1コマ設定 ”を選びます。
❸“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

! 画像を選ぶときは、マルチ再生（➡60ページ）すると便利です。

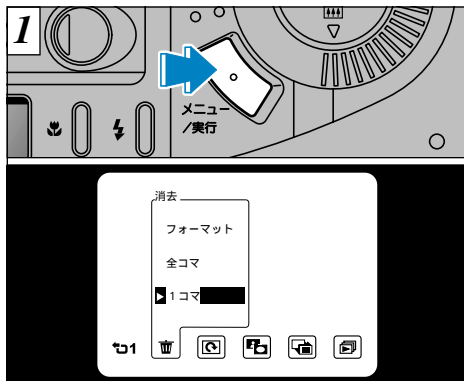
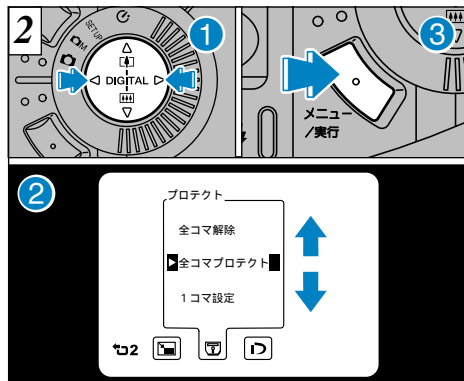
! “ リサイズ ”選択時に“ ◀ ”を押すと“ 1 ”に戻ります。

“◀ ▶ ”ボタンでプロテクトしたい画像を選びます。

“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと画像がプロテクトされ、右端に“ ”マークが表示されます。プロテクトを解除するには、もう一度“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

❗ プロテクトしない場合は、“ キャンセル/戻る ”ボタンを押してください。

❗ プロテクトを続けるには、3からの操作を繰り返します。

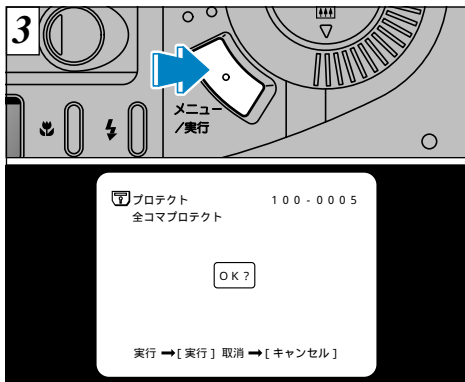
❗ プロテクトされていても、“ フォーマット ”するとすべての画像が消去されます（➡61ページ）。

4

再生メニュー 全コマプロテクト設定（消去防止）/解除

“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと液晶モニターにメニューが表示されます。

❶“ 消去 ”選択時に“ ◀ ”を押して“ 2 ”を表示します。さらに“ ▶ ”を押して“ プロテクト ”を選びます。

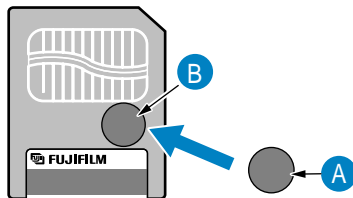
❷“ ▲▼ ”で“ 全コマプロテクト ”か“ 全コマ解除 ”を選びます。

❸“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

“ リサイズ ”選択時に“ ◀ ”を押すと“ 1 ”に戻ります。

実行を確認する画面が表示されます。OKなら“メニュー/実行”ボタンを押して実行します。

! プロテクトされていても、“フォーマット”するとすべての画像が消去されます（➡61ページ）。

スマートメディア™の誤記録防止について

ライトプロテクトシールをはると、画像の記録/消去・フォーマットができません。シールをはがすと通常どおり使用できます。

＊必ず付属のライトプロテクトシールⒶを、ライトプロテクトエリア内Ⓑに、はみ出さないようにしっかりとはってください。
＊シールの端で手を切らないようにご注意ください。
＊シールが汚れていると、誤記録防止されないことがあります。
＊スマートメディアについて、詳しくは111ページをご参照ください。

4

再生メニュー DPOFについて

DPOF（ディーポフ）とはDigital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたいコマやその枚数などの指定情報をスマートメディアなどに記録するときの形式です。

プリンカム

スマートメディア

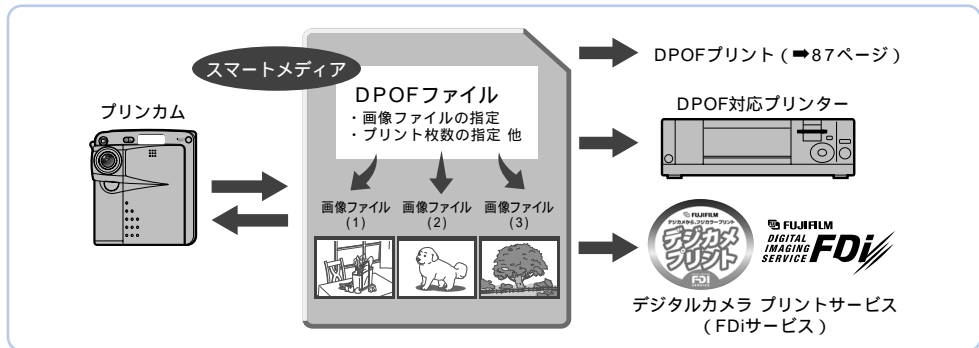
DPOFファイル
・画像ファイルの指定
・プリント枚数の指定 他

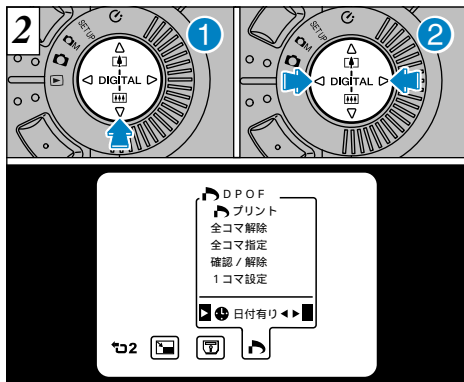
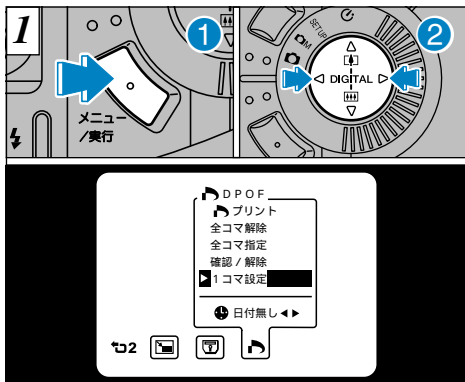
画像ファイル（1）
画像ファイル（2）
画像ファイル（3）

DPOFプリント（➡87ページ）

DPOF対応プリンター

FUJIFILM DIGITAL IMAGING SERVICE FDi

デジタルカメラ プリントサービス
（FDiサービス）

- DPOF対応プリンカム（本機）では上記の情報をカメラの操作でスマートメディアに記録することができ、DPOF情報にそったプリントができます。
- DPOF情報を記録したスマートメディアを、フジフイルム デジタルカメラプリントサービス（FDiサービス）取り扱い店にお持ちいただくだけで、指定情報どおりの高画質プリントサービスが受けられます。
- DPOF対応プリンターでは、DPOF情報があれば、指定コマ（画像ファイル）を指定枚数だけ自動的にプリントできます。
- 本機では[スタンダード（STANDARD）、トリミング（TRIMMING）、日付]のDPOF設定情報に対応しています。

DPOF 日付設定

プリントに撮影した日付を入れるか入れないかを選べる機能です。

❶“ メニュー/実行 ”ボタンを押して、液晶モニターにメニューを表示させます。

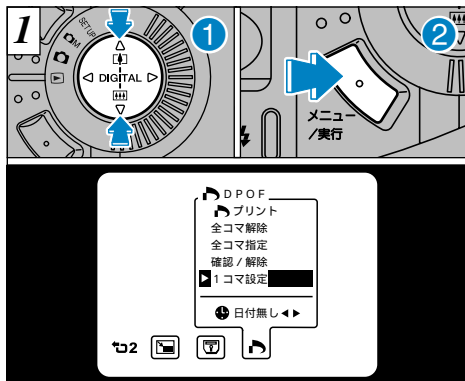
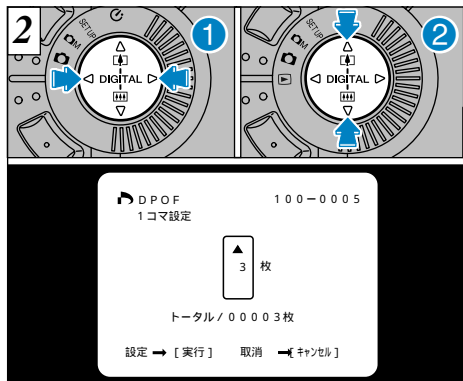
❷“ 消去 ”選択時に“ ◀ ”を押して“ 2 ”を表示します。さらに“ ▶ ”を押して“ DPOF ”を選びます。

リサイズ ”選択時に“ ◀ ”を押すと“ 1 ”に戻ります。

❶“ ▼ ”で“ 日付 ”を選びます。

❷“ ◀ ▶ ”を押すと、“ 日付有り ”か“ 日付無し ”が設定できます。その後、設定を変更するまですべてに有効です。

他の設定の前に、必ず日付有り/無しの設定を行ってください。

再生メニュー DPOF 1コマ設定

❶“ ▲▼ ”で“ 1コマ設定 ”を選びます。
❷“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

❶“ ◀ ▶ ”で設定するコマを表示させます。
❷“ ▲▼ ”でプリント枚数を指定します。

トリミング設定をしない場合は 6 へ(➡82ページ)

! 設定の前に、必ず日付の有り/無しを設定してください。

! 1コマ設定・トリミング設定のあとに全コマ指定を行うと、1コマ設定で設定したコマ数とトリミング設定は解除されます。

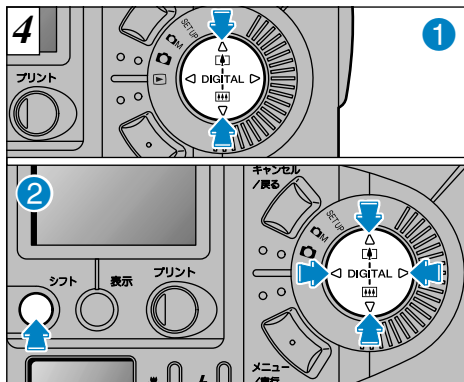
! 指定できるプリント枚数は99枚までです。また、同一スマートメディア内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。

! 画像を選ぶときはマルチ再生(➡60ページ)すると便利です。ただし“ ▲▼ ”で画像を選択できません。

〈トリミング設定する場合〉 3～5

❶プリント枚数を指定したあとで、“シフト”ボタンを押しながら❷“メニュー/実行”ボタンを押すと、トリミング設定画面になります。

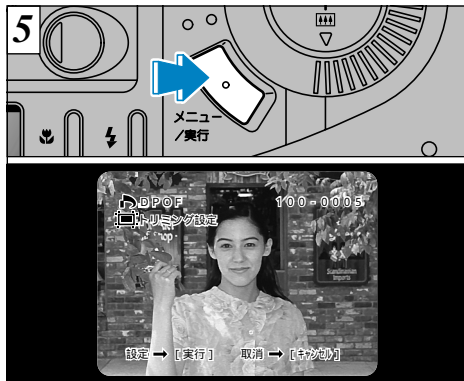
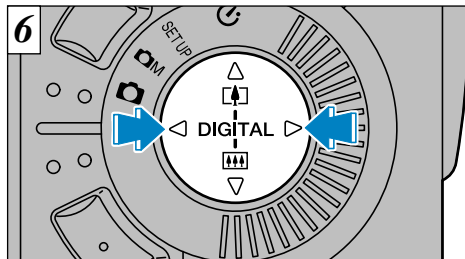
❗６４０×４８０ピクセルの画像はトリミング設定できません。

❗“シフト”ボタンを押すと操作ガイダンスが表示されます。

❶“▲▼”でズームします。

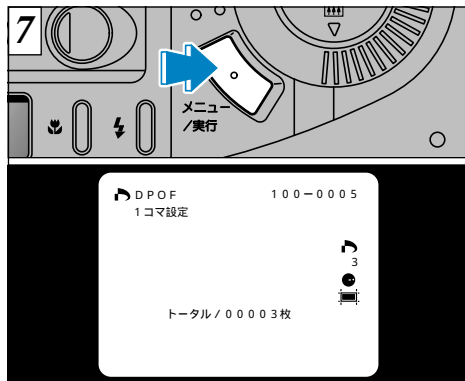
❷“シフト”ボタンを押しながら“▲▼◀▶”を押すと、トリミングする範囲を移動することができます。

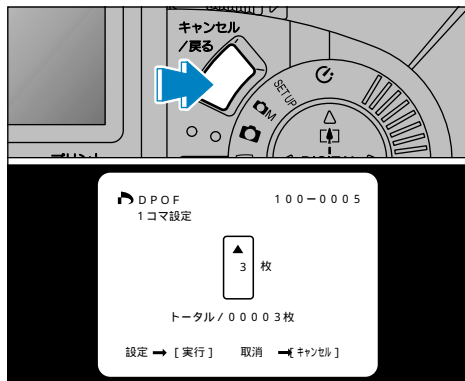
❗トリミングできる最小ピクセル数は６４０×４８０相当までです。それ以上小さくしようとすると警告音が鳴ります。

❗トリミングでは、画像の横と縦の比は４：３になります。

4

“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと、液晶モニターに見えている状態でトリミング設定が決定されます。

“ ◀ ▶ ”で次のコマを表示し、続けてプリント枚数を指定できます。

“ ◀ ▶ ” で次のコマを表示させた場合、指定した日付設定・プリント枚数設定・トリミング設定は自動的に確定されます。

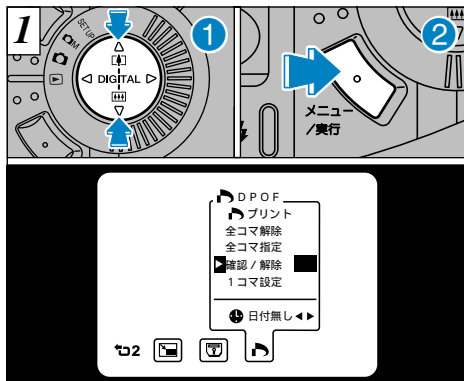
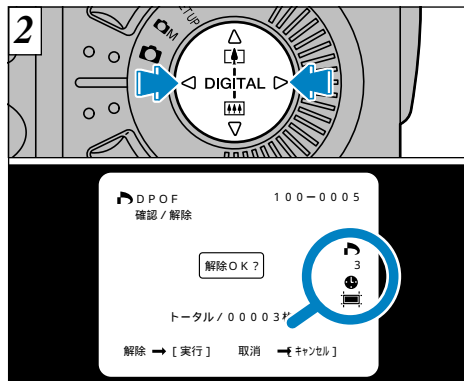
プリントサイズが“ LARGE ”に設定されている場合には、自動的にDPOFのトリミング情報が設定されます。

〈実行する場合〉

設定が終わったら、必ず“メニュー/実行”ボタンを押して決定してください。液晶モニターにトータル枚数が表示され、メニューに戻ります。確定したコマには“ とプリント枚数”日付設定有りの場合は“ ”トリミング設定有りの場合は“ ”が表示されます。

〈キャンセルする場合〉

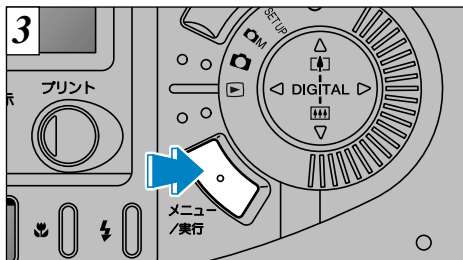
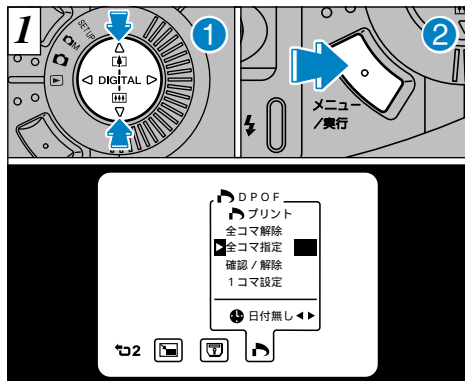
キャンセルした場合は、選択中のコマの設定のみ無効になります。選択中のコマ以外の設定はキャンセルされません。

“トータル”は指定したプリント枚数の合計です。

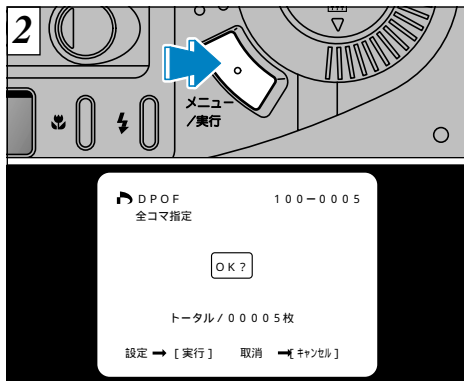
4

DPOF 確認/解除

❶“ ▲▼ ”で“ 確認/解除 ”を選びます。
❷“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

“ ◀ ▶ ”を押すと、プリント枚数設定をしたコマだけを確認できます。各コマの設定は画面の右端に表示されます。

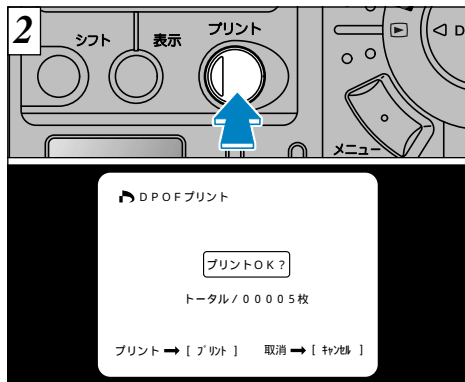
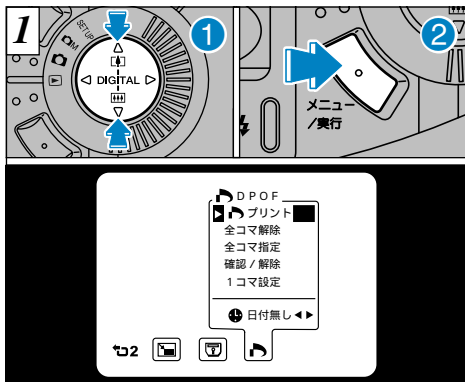
❗ 画像を選ぶときはマルチ再生（➡６０ページ）すると便利です。
❗ すべてのプリント設定が解除されている場合“ トータル ”は０００００枚になり、背景が黒画面になります。

3

プリント設定を解除するには、解除したい画像を表示し“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

❶“ ▲▼ ”で“ 全コマ指定 ”か“ 全コマ解除 ”を選びます。
❷“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

実行を確認する画面が表示されます。OKなら“メニュー/実行”ボタンを押して実行します。

- “全コマ指定”は、すべての画像を1枚ずつプリントする指定をします。
- 1コマ設定での指定とトリミング指定は解除されます。
- 同一スマートメディア内でプリント指定できるコマ数は、999コマまでです。999コマ以上の指定をすると“ DPOF FILE ERROR ”警告が出ます。

液晶モニターにトータル枚数が表示され、その後メニューに戻ります。

- “トータル”は指定したプリント枚数の合計です。
- 全コマ解除した場合“トータル”は00000枚になります。

DPOFプリント

❶DPOF設定されたスマートメディアをセットし、“▲▼”で“プリント”を選びます。
❷“メニュー／実行”ボタンを押します。

DPOF設定のトータル枚数が表示されますので、確認後“プリント”ボタンを押します。

プリント中にスロットカバーを開けると電源が切れ、プリント中のフィルムが排出されます。フィルムは、正常にプリントされない場合があります。

- DPOF設定がない場合は、“DPOF指定がありません”と表示され、実行できません。
- 多数枚プリントする場合は、ACパワーアダプターAC-PR/5Vを使用することをおすすめします。
- プリントしたフィルムは必ず１枚ずつ取り出してください。フィルム詰まりの原因となります。
- プリント途中でフィルムが終った場合、フィルムパック交換後“プリント”ボタンを押してください。

プリント一覧表

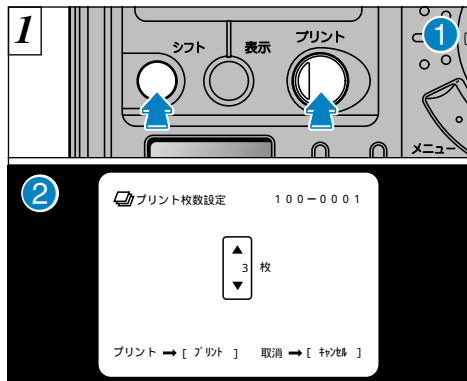
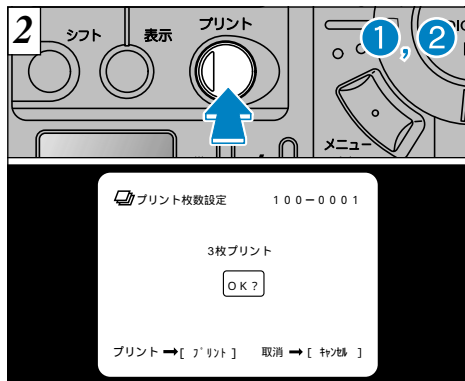
静止画像が液晶モニターに表示されていて、プリントランプが点灯している場合、プリントボタンを押すとプリントできます。プリント中はプリントランプが点滅します。

プリント中にスロットカバーを開けると電源が切れ、プリント中のフィルムが排出されます。この場合、正常にプリントされないことがあります。

❗ 各操作ともに、枚数指定プリントができます。

❗ マルチ再生や画像回転の余白は、液晶モニターでは黒く表示され、プリントすると白になります。

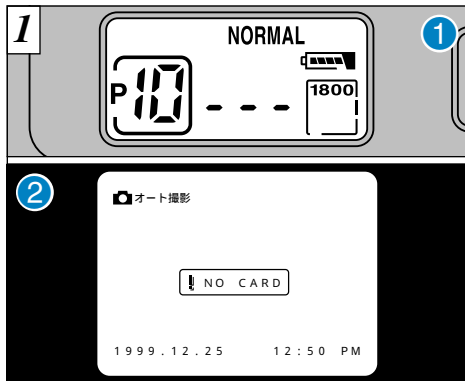
モード	プリントできる場面	動　　作	参照ページ
撮影（オート、セルフ）	スマートメディアに記録できない場合	プリントします	90ページ
撮影（オート、セルフ）	セットアップの“ オート撮影後プリント ”を“ する ”に設定した場合	記録後にプリントします	97ページ
マニュアル撮影	撮影後のプレビュー画面	記録後にプリントします	51ページ
再生	1コマ再生画面	プリントします	42ページ
再生ズーム	ズーム画面	640×480で記録後にプリントします	59ページ
マルチ再生	マルチ再生画面	記録しないでプリントします	60ページ
画像回転	回転後のプレビュー画面	640×480で記録後にプリントします	63ページ
テンプレート合成	画像合成後のプレビュー画面	640×480で記録後にプリントします	65ページ
エフェクト	効果適用後のプレビュー画面	記録後にプリントします	68ページ

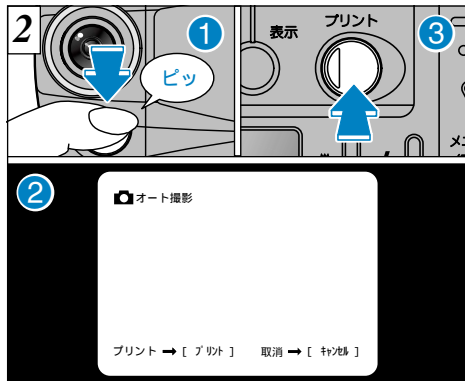
枚数指定プリント

❶" シフト "ボタンを押しながら、" プリント "ボタンを押します。
❷プリント枚数指定画面が表示されますので、" ▲▼ "でプリント枚数を指定します。

❶プリントボタンを押すと、プリントを確認する画面が表示されます。
❷OKならもう一度プリントボタンを押します。

! 指定できるプリント枚数はフィルム残り枚数までです。

! フィルム残数以上指定しようとした場合、液晶モニターに" フィルムがたりません "が表示されます。

! 多数枚プリントする場合は、ACパワーアダプターAC-PR/5Vを使用することをおすすめします。

こんなときにも撮影後プリントできます

❶フィルムが入っていて、スマートメディアに記録できない状態
- ●スマートメディアがない場合
- ●スマートメディアに空容量がない場合
- ●スマートメディアがプロテクトされている場合

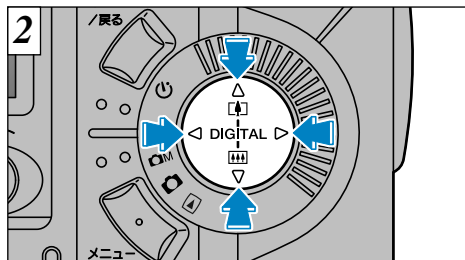
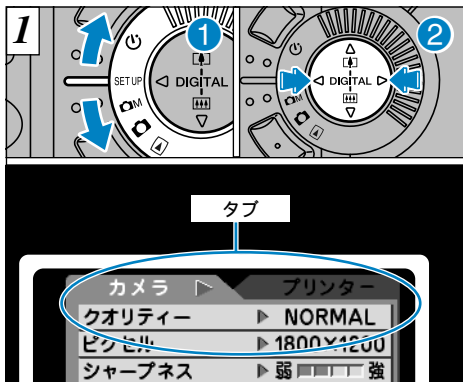
❷シャッターボタンを半押ししたとき液晶モニターに“ !NO CARD ”“ !CARD FULL ”“ !PROTECTED CARD ”が表示された状態

❶左記の状態でシャッターボタンを押して撮影します。
❷撮影した画像がすぐに再生されます。
❸“プリント”ボタンを押すとプリントすることができます(プリントサイズは“LARGE”➡99ページのみです)。

! この状態で撮影した場合、画像をスマートメディアに記録することはできません。
! 枚数指定プリントはできません。
! セットアップで「オート撮影後プリント」を「しない」に設定(➡93ページ)していても上記動作をします。

セットアップ

❶モードダイヤルを“SET UP”に合わせてセットアップ画面を表示します。

❷タブを選んだ状態で“◀▶”で“カメラ”と“プリンター”のセットアップ項目を切り換えられます。

電池を交換するときは、必ず電源を切ってください。電源を切らずに電池カバーを開けたりACパワーアダプターを抜くと、各種設定が工場出荷設定に戻ることがあります。

“▲▼”で、項目を選択します。“◀▶”で設定を変更して決定できます（日時・テンプレート登録・プリント画質調整・リセットを除く）。

▶設定項目は次のとおりです。

〈 カメラ設定一覧 〉

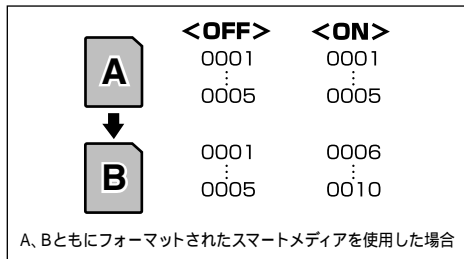
項目名	表　示	工場出荷時	内　　容
クオリティー	FINE/NORMAL/BASIC	NORMAL	記録する圧縮率（画質）を設定できます。27ページの設定切り換えと同じ機能です。
ピクセル	1800×1200/640×480	1800×1200	記録する画素数（画像サイズ）を設定できます。28ページの設定切り換えと同じ機能です。
シャープネス	弱　強	弱　強	4段階切り換えです。 弱　強　パソコンでの処理に最適（輪郭をソフトに） 弱　強　通常の撮影に最適 弱　強　パソコン、プリンターでの大サイズプリントやビデオプロジェクター出力などで鮮明画像が得られます。 弱　強　建物・文字などを特に鮮明にしたい撮影に最適
オートパワーオフ	有効/無効	有効	使用するかしないかを切り換えます。“ 無効 ”にすると、約2分以上放置しても自動的に電源が切れません。
LCD	ON/OFF	ON	撮影モードにしたときに、液晶モニターを自動的にONにするかOFFにするかを切り換えます。
コマNO.メモリー	ON/OFF	OFF	コマNO.メモリー機能を使用するかしないかを切り換えます（➡94ページ）。
ビープ♪	HIGH/LOW/OFF	HIGH	操作したときの音量を切り換えます。“ OFF ”にすると音が鳴りません。
日時	実行	—	日付・時刻を設定できます（➡24ページ）。
リセット	実行	—	“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと、カメラのセットアップ項目（日時は除く）を工場出荷設定に戻せます。

〈 プリンター設定一覧 〉

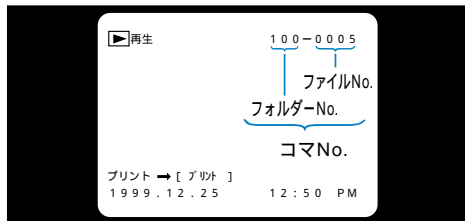
項目名	表　示	工場出荷時	内　　容
テンプレート登録	実行	——	テンプレート合成用のテンプレート画像をプリンカムのメモリーに登録できます（➡95ページ）。
オート撮影後プリント	する/しない	しない	“ ” “ ”で撮影して画像を記録したあとに、プリントするためのプレビュー画面を表示するかしないかを切り換えます。プレビュー画面表示状態でプリントボタンを押すとプリントできます（➡97ページ）。
プリント画質調整	実行	——	プリントの画質・色あいを調整できます（➡98ページ）。
プリントサイズ	LARGE/FULL	LARGE	画像のプリントされる範囲を切り換えできます（➡99ページ）。 1800×1200の画像にのみ対応されます。
日付プリント	する/しない	しない	プリントに日付けを入れるか入れないかを切り換えます。 図の位置に日付けが入ります。 1999. 12. 25
リセット	実行	——	“メニュー/実行”ボタンを押すと、プリンターのセットアップ項目（テンプレート登録は除く）を工場出荷設定に戻せます。

6

コマNO.メモリー

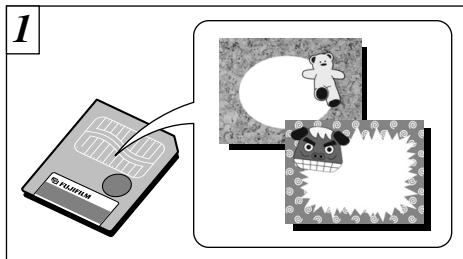
A、Bともにフォーマットされたスマートメディアを使用した場合

OFF：スマートメディアごとに「ファイルNo.0001」から撮影
ON　：最後に使用したスマートメディアの「最終ファイルNo.」から続けて撮影

“ ON ”にすると、パソコンなどに画像を取り込んだときにファイル名が重複しないので、ファイルの管理に便利です。

記憶した「最終ファイルNo.」より、大きいファイルNo.の画像がスマートメディアにあった場合、大きいファイルNo.の続きから撮影されます。

画像を再生するとファイルNo.を確認できます。画面の右上の7けたの数字のうち下4けたがファイルNo.で、残りの3けたはフォルダーNo.です。

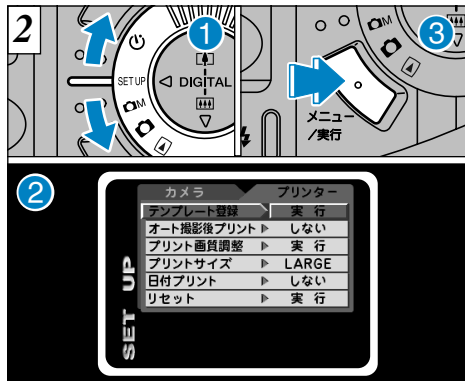
- スマートメディアを交換するときは、必ず電源を切ってからスロットカバーを開けてください。電源を切らずにスロットカバーを開けると、コマNO.メモリーが機能しません。
- ファイルNo.は0001から9999までで、それを越えるとフォルダーNo.が1つ繰り上がります。最大で999−9999までカウントされます。
- コマNO.メモリーを“ OFF ”にすると、記憶した「最終ファイルNo.」がリセットされます。
- 他のカメラで撮影した画像は、コマNo.表示が異なる場合があります。

テンプレート（飾枠）登録

1

テンプレート画像の記録されているスマートメディアをセットします。

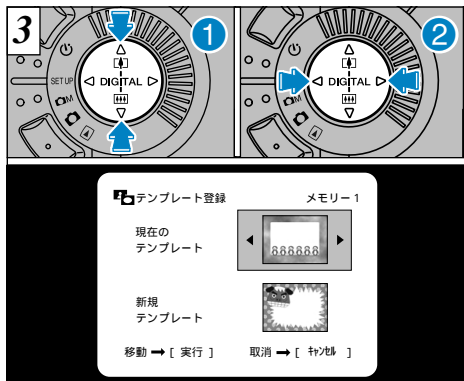
テンプレート画像はフジフイルムのホームページよりダウンロードできます。
インターネットアドレス
http://www.fujifilm.co.jp/princam/template/

テンプレート画像は、スマートメディアに“FFRAME01”という名前のフォルダーを作成し、その中に保存してください。スマートメディアへの保存方法など詳しくはホームページをご覧ください。

スマートメディアにテンプレート画像を保存するには別途、周辺機器「FD-A2B（Windowsのみ）・SM-R1・PC-AD3B」のいずれかが必要です。

❶ **モードダイヤルを“SET UP”に合わせてセットアップ画面を表示します。**

❷ **プリンター設定の“テンプレート登録”を選びます。**

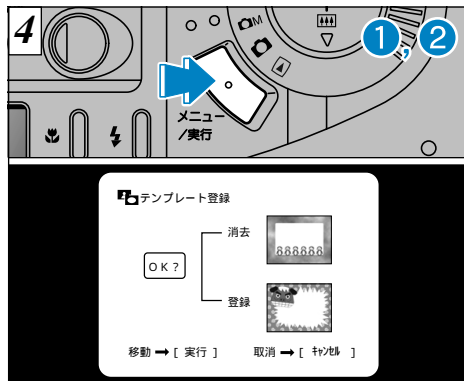
❸ **“メニュー/実行”ボタンを押します。**

テンプレート（飾枠）登録

テンプレート登録画面が表示されます。

❶“▲▼”で選択カーソルを移動（現在と新規の切り換え）します。

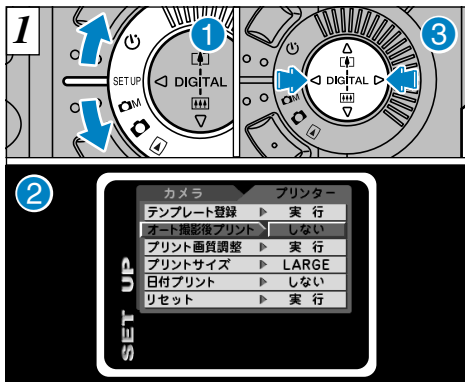
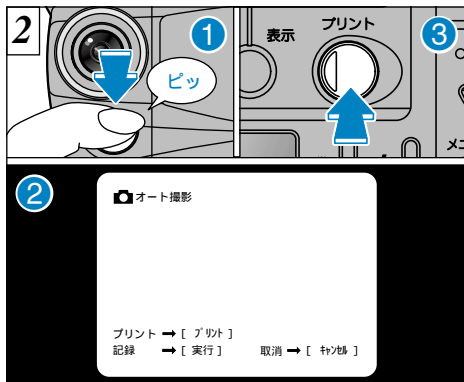
❷“◀▶”で“現在のテンプレート”と、“新規テンプレート”の画像を選択します。

“現在のテンプレート”はメモリーに記録されている画像、“新規テンプレート”はスマートメディア内の画像になります。

テンプレートの選択には、“表示”ボタンを押して“マルチ再生”すると便利です。

❶“メニュー／実行”ボタンを押すと、メモリーしている画像を消して新規画像を登録していいか確認の画面が出ます。

❷確認後、もう一度“メニュー／実行”ボタンを押します。

テンプレートは、3種類まで登録できます。

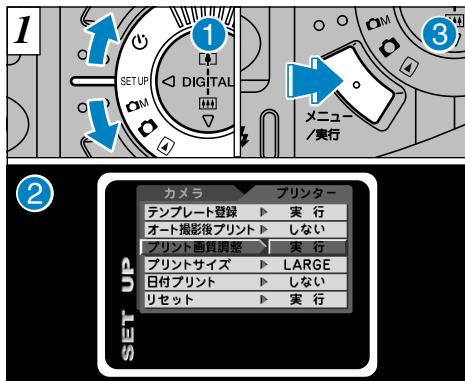
オート撮影後プリント

❶モードダイヤルを“ SET UP ”に合わせてセットアップ画面を表示します。
❷プリンター設定の“ オート撮影後プリント ”を選びます。
❸“ ◀ ▶ ”で設定を変更します。

“ オート撮影後プリント ”を“ する ”に設定して

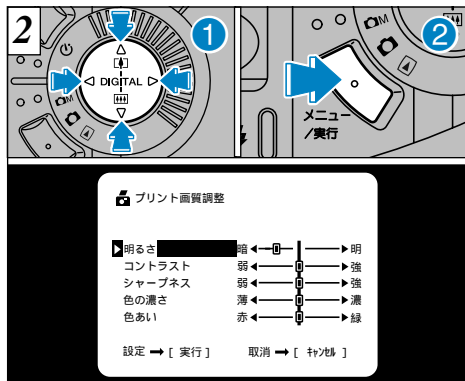
❶撮影します。
❷撮影した画像がプレビューされます。
❸“ プリント ”ボタンを押すとプリントできます。

6

❗記録のみする場合は、“ メニュー／実行ボタン ”を押してください。

❗プリント／記録を取り消す場合は、“ キャンセル/戻る ”ボタンを押してください。

プリント画質調整

❶モードダイヤルを“ SET UP ”に合わせてセットアップ画面を表示します。
❷プリンター設定の“ プリント画質調整 ”を選びます。
❸“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

❗プリントされる“ 画質 ”を調整する機能です。画像データを変更する機能ではありませんので、液晶モニターの画像（画質）は変化しません。また、設定によっては液晶モニターの画質と違ってプリントされることがあります。

プリント画質調整画面が表示されます。
❶“ ▲▼ ”で項目を移動し、“ ◀▶ ”で設定値を変更します。
❷設定を決定するには“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

❗設定変更後は試しプリントをおすすめします。
❗プリント画質調整の設定内容は、電池が切れても保持されます。工場出荷設定に戻すには、プリンター設定の“ リセット ”を実行してください。(➡93ページ)

プリントサイズ

LARGE

“ LARGE ” ではプリント範囲に余白が出ないようにプリントします。しかし、画像の長辺両端が多少カットされます。

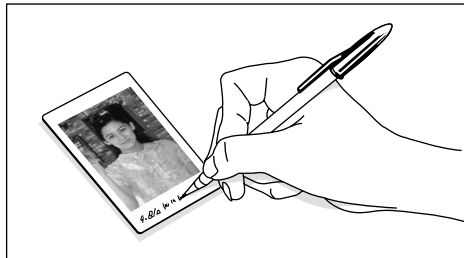
1800×1200の画像にのみ対応します。

FULL

“ FULL ” では画像の両端をカットせず、画像すべてがプリントされる状態になります。しかし、プリント短辺に余白が出ます。

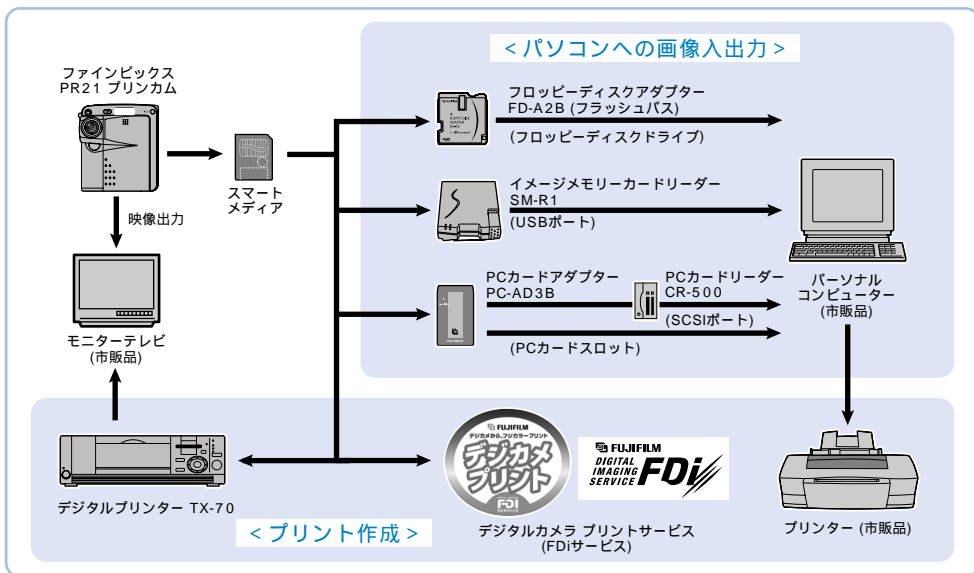
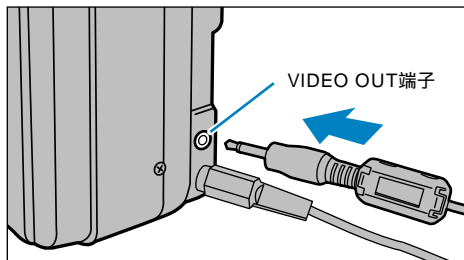
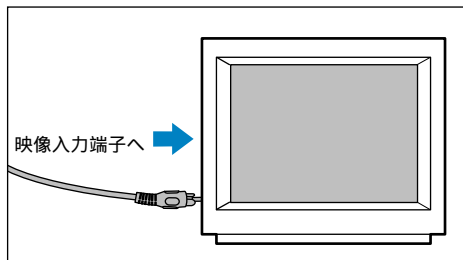
プリントサイズが“ LARGE ”に設定されている場合には、自動的にDPOFのトリミング情報が設定されます。

便利に楽しくお使いいただくために

出来上がったプリントの、焼き増し/引き伸ばしをすることができます。
お近くの写真店で“ チェキプリント ”とご指定ください。

プリントの余白には、メモ欄がついています。
水性以外の筆記用具で書き込みができます。

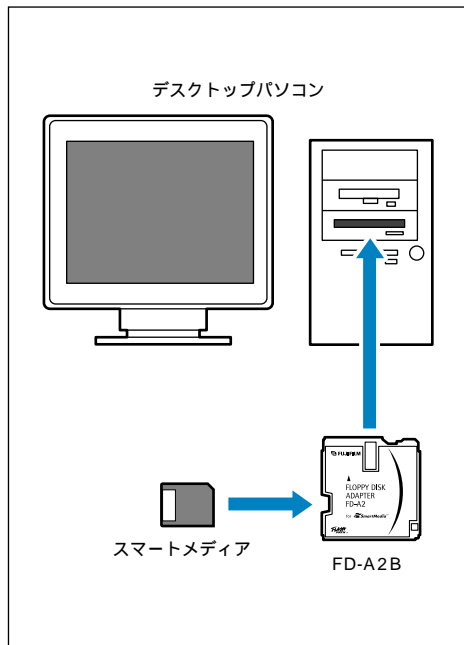
システムアップ機器（別売）

▶別売のフジフイルム製品と組み合わせることにより、様々な用途向けにシステムアップすることができます。詳しくは102〜106ページをご参照ください。

（平成11年11月現在）

テレビに画像を映す場合

プリンカムとテレビの電源を切ります。プリンカムの“ VIDEO OUT ”端子にビデオケーブル（付属品）のミニプラグを接続します。

テレビの映像入力端子にピンプラグを接続し、プリンカムとテレビの電源を入れて通常どおり撮影・再生を行ってください。

! コンセントが近くにある場合は、ACパワーアダプター AC-PR/5V（別売）を接続することをおすすめします。

! テレビの映像入力については、テレビの説明書をご参照ください。

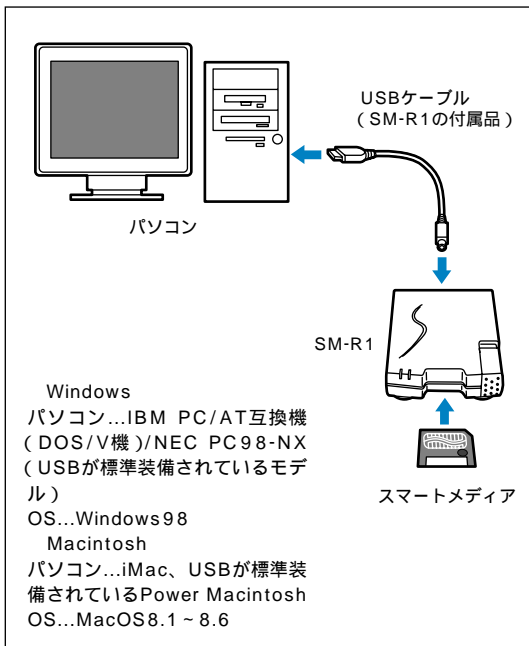
フロッピーディスクアダプター FD-A2Bを使用する場合

- プリンカムからスマートメディアを取り出し、フロッピーディスクアダプター（フラッシュパス）FD-A2Bに差し込みます。
- これをパソコンのフロッピーディスクドライブに挿入すると、フロッピーディスクでファイルを扱う場合と同じ要領で、プリンカムで撮影した画像データを取り扱うことができます。
- Windows98、Windows95（DOS/V機）、Windows95/OSR2（NEC PC-9821シリーズ）、Power Macintosh/漢字Talk7.5.3〜Mac OS8.1で利用可能です。

❗ PCカード経由や、USBインターフェース経由で接続するタイプのフロッピーディスクドライブではお使いになれません。

❗ LS-120やHiFDなど、高容量タイプのフロッピーディスクドライブではお使いになれません。

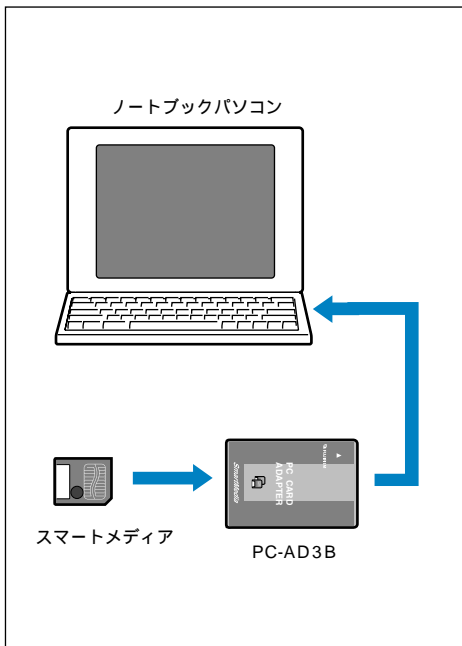
❗ Power Macintoshでご使用の場合は読み込み専用となります。

❗ 画像の閲覧や加工、プリントには別途画像アプリケーションソフト（JPEG対応）が必要です。

イメージメモリーカードリーダー SM-R1を使用する場合

- **プリンカムからスマートメディアを取り出し、イメージメモリーカードリーダーSM-R1に差し込みます。**
- **パソコンの外付けドライブのファイルを扱う場合と同じ要領で、プリンカムで撮影した画像データを取り扱うことができます。**

! USBインターフェースを標準装備したパソコンでのみ利用できます。

! 画像の閲覧や加工・プリントには、別途画像アプリケーションソフト（JPEG対応）が必要です。

PCカードアダプター PC-AD3Bを使用する場合

- プリンカムからスマートメディアを取り出し、PCカードアダプターPC-AD3Bに差し込みます。
- これをノートパソコンなどのPCカードスロットに挿入すると、PCメモリーカードでファイルを扱う場合と同じ要領で、プリンカムで撮影した画像データを取り扱うことができます。
- Windows95/98、Macintosh/漢字Talk 7.5.5〜MacOS8.6で利用可能です。ただし、機能拡張のPC Exchange、またはFile Exchangeが必要です。

! PCカードTYPE II対応のPCカードスロット内蔵、またはPCカードリーダー/ライターが接続されたパソコンで利用可能できます。

! 画像の閲覧や加工・プリントには、別途画像アプリケーションソフト（JPEG対応）が必要です。

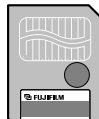
その他 別売アクセサリーの紹介（平成11年11月現在）

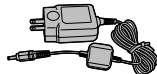
▶使いかたや、接続のしかたについては、お使いになるアクセサリーの「使用説明書」をご覧ください。

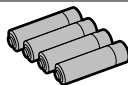
●スマートメディア™

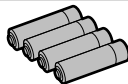
別売のスマートメディアです。以下の5種類がお使いいただけます。

- ●MG- 4SB ： 4MB、3.3V仕様
- ●MG-16SB ：16MB、3.3V仕様
- ●MG-64SB ：64MB、3.3V仕様
- ●MG- 8SB ： 8MB、3.3V仕様
- ●MG-32SB ：32MB、3.3V仕様

＊3.3V仕様品の中には「3V」という表示のものがあります。

●ACパワーアダプター AC-PR/5V

長時間の撮影・再生時にお使いください。

●単3形ニッケル水素電池 HR-AA「ニッケル水素1600」

高容量の単3形ニッケル水素電池です。
4本パック「型名 HR-AA/4B」をお買い求めください。

●単3形ニカド電池 KR-AA（HP）「ハイパワー1000」

高容量の単3形ニカド電池です。
4本パック「型名 KR-AA（HP）/4B」をお買い求めください。

●ニッケル水素/ニカド急速充電器80（FNH）

ニッケル水素1600 4本を約170分間で充電できます。
ニカド電池4本を約120分間で充電できます。

●ソフトケース SC-PR 21

合成皮革製の専用のケースです。プリンカムを持ち運ぶときに、ゴミやほこり、軽い衝撃からプリンカムを保護します。

用語の解説

AF・AEロック ：このプリンカムでは、シャッターボタンを半押しするとピントと露出を固定(AF・AEロック)します。画面の端の被写体にピントを合わせたり、露出を決めてから構図を変えたい場合には、AF・AEロックをしてから構図を変えて撮影すると、きれいに撮影できます。

EV ：露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムやCCDなどの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり，暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することによりCCDに与える光量を一定にしています。
CCDに与えられる光量が2倍になるとEV値は＋1、半分になるとEV値は－1変化します。

Exif(イグジフ)ファイル ：Exifは、JEIDA (日本電子工業振興会) にて承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。TIFFやJPEGとの互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。

JPEG (ジェイペグ) ：Joint Photographic Experts Groupの略。
カラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が選択できますが、圧縮率が高くなるほど伸張 (画像の復元) したときの画質は劣化します。

オートパワーオフ機能 ：電池の消耗や、ACパワーアダプター接続時のムダな電力消費を防ぐため、約2分間何も操作をしないと自動的に電源をOFFします。
- オートプレイ時やセットアップでオートパワーオフを無効にした場合は、オートパワーオフしません。
- オートパワーオフを無効にして2分以上放置後の撮影では、ストロボが発光せず、適正な画像が得られない場合がありますので、ご注意ください。

ホワイトバランス ：人間の目にはどんな照明のもとでも、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って初めて、白い被写体が白く撮影されます。この調整をホワイトバランスを合わせるといいます。ホワイトバランスを自動的に合わせる機能を**オートホワイトバランス**といいます。

使用上のご注意

▶ご使用の前に、必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。

■避けて欲しい場所

次のような場所での本機の使用および保管は避けてください。

- 湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ。極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■砂がかからないようにしてください。

砂は本機の大敵です。海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露（つゆつき）にご注意

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内部やレンズなどに水滴がつく（結露）ことがあります。このようなときは電源を切り、1時間ほどたってからお使いください。また、スマートメディアに水滴がつくことがあります。このようなときはスマートメディアを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは

本機を長時間お使いにならないときは、電池・スマートメディアを取り外して保管してください。

■プリンカムのお手入れ

- レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどは傷つきやすいので、固い物でこすったりしないでください。
- プリンカム本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性の物をかけないでください。変質・変形したり、塗料がはげるなどの原因となります。

■海外で使うとき

- このプリンカムは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内のサービス窓口にご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにプリンカムを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因となることがあります。

電源についてのご注意

使用できる電池

●本機には、単3形ニッケル水素電池、単3形ニカド電池を使用してください。
単3形マンガン乾電池や単3形リチウム電池は、電池の発熱などにより本機の故障や事故の原因となることがありますので使用できません。

●アルカリ乾電池を使用すると、プリント排出途中で停止する場合があり、故障の原因になることがありますので使用できません。

電池についてのご注意

電池の使い方を誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂の恐れがあります。以下の事項をお守りください。

●火中に投入したり、加熱したりしないでください。

●プラス極とマイナス極を針金などの金属で接続したり、ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に持ち運んだり保管しないでください。

●水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。

●変形させたり、分解、改造をしないでください。

●外装チューブをはがしたり、傷をつけないでください。

●落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えないでください。

●液もれしている、変形、変色、その他異常に気づいたときは使用しないでください。

●高温、多湿の場所に保管しないでください。

●幼児やお子様の手の届く範囲に放置しないでください。

●プリンカムに電池を入れるときは、極性（⊕と⊖）に注意して表示どおりに入れてください。

●新しい電池と使用した電池（充電済みの電池と、放電した電池）、あるいは種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。

●長い間使用しないときは、電池を取り出しておいてください（電池を取り外して放置した場合、各種設定が工場出荷設定に戻ります）。

●使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはプリンカムの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。

●電池を交換するときは、４本すべてを新しい電池にお取り替えください。新しい電池とは、「最近同時にフル充電した電池」のことです。

●寒冷地（＋１０℃以下）では電池の性能が低下し、使用可能時間が短くなります。電池をポケットの中などで温めてからお使いください。また、カイロをお使いの場合は直接電池に触れないようにご注意ください。

⚠ **万一、液もれが起こったときは、電池挿入部についた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。**

⚠ **電池の液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また、液が目に入った場合には失明の恐れがあります。こすらずに、きれいな水で洗ったあと、医師の診療を受けてください。**

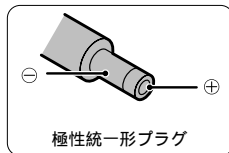
電源についてのご注意

■電池の廃棄について
電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

■小形充電池（ニッケル水素電池/ニカド電池）についてのご注意
- 単3形ニッケル水素電池/ニカド電池の充電は、専用の急速充電器を使用し、急速充電器の「取扱説明書」の指示に従って正しく行ってください。
- 急速充電器では、指定外の電池を充電しないでください。
- 充電直後の電池は高温になっていることがありますので、ご注意ください。
- ニッケル水素電池/ニカド電池は、出荷時には充電されていません。ご使用の前に必ず充電してください。
- プリンカムの機構上、電源を切っても微小電流が流れています。ニッケル水素電池/ニカド電池を長期間プリンカムに入れたままにすると過放電状態になり、充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。
- ニッケル水素電池/ニカド電池は使わなくても自己放電しています。ご使用の前に必ず充電してください。また、正常に充電したにもかかわらず、使用できる時間が著しく短くなったときは、電池の寿命です。新しいものをお買い求めください。

■小形充電式電池のリサイクルについて
このマークは小形充電式電池（ニッケル水素電池/ニカド電池など）のリサイクルマークです。小形充電式電池は埋蔵量の少ない高価な希少資源を使用していますが、これらの金属はリサイクルして再利用できます。

このようにリサイクルすることは、ゴミを減らし、環境を守ることにつながります。ご使用済みの小形充電式電池の廃棄に際しては、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープをはって、小形充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

ACパワーアダプターについてのご注意

極性統一形プラグ

本機には、必ず専用のACパワーアダプターAC-PR/5V（別売、EIAJ規格・極性統一形プラグ付き）をお使いください。AC-PR/5V以外のACパワーアダプターをお使いになると本機の故障の原因になることがあります。

- ACパワーアダプターの接点部には、他の金属が触れないようにしてください。ショートする危険があります。
- 電池動作中にACパワーアダプターを差し込まないでください。一度電源を切ってから差し込んでください。
- ACパワーアダプター動作中に電池を入れたり、交換したりしないでください。一度電源を切ってから行ってください。
- 電池が無い状態でACパワーアダプターを抜くと、日時の保持はしません。日時を設定し直してください。

スマートメディア™についてのご注意

■スマートメディアについて

デジタルカメラ用に開発された、新しい画像記録媒体SmartMedia（スマートメディア）です。スマートメディアの中には、半導体メモリー（NAND型フラッシュメモリー）が内蔵されており、このメモリーにデジタル化された画像データが記録されます。
記録は電気的に行われますので、一度記録した画像データを消去したり、再び記録することができます。

■データ保持について

以下の場合、記録したデータが消滅（破壊）することがあります。記録したデータの消滅（破壊）については、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

＊お客様または第三者がスマートメディアの使いかたを誤ったとき
＊スマートメディアが静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき
＊スマートメディアに記録動作中・消去（フォーマット）動作中にスマートメディアを取り出したり機器の電源を切ったとき

大切なデータは別のメディア（MOディスク、フロッピーディスク、ハードディスクなど）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。

■取扱上のご注意

- スマートメディアをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- スマートメディアの記録中・消去（フォーマット）中は、絶対にスマートメディアを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。スマートメディアが破壊されることがあります。
- 指定された以外のスマートメディアはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因となります。
- スマートメディアは精密電子機器です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用・保管は避けてください。
- 高温多湿の場所、または腐食性のある環境下でのご使用・保管は避けてください。
- スマートメディアの接触面（金色の部分）にゴミや異物がつかないように、また触らないようにご注意ください。汚れは乾いた柔らかい布などでふいてください。
- スマートメディアの持ち運びや保管時は、静電気による影響を避けるため、必ず専用の静電気防止ケースに入れてください。また、収納ケースがある場合は収納ケースに入れてください。
- 静電気を帯びたスマートメディアをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。

スマートメディア™についてのご注意

- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したスマートメディアが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- スマートメディアには寿命があり、長期間使用するうちに書き込みや消去ができなくなります。このときは新しいものをお買い求めください。
- インデックスエリアには、付属のインデックスラベルをはってください。市販のラベルなどは、はらないでください。カードの出し入れの際、故障の原因になります。
- インデックスラベルは、ライトプロテクトエリアに掛からないように、はってください。
- 万一、当社の製造上の原因による初期品質不良がありました場合には、同数の新しいカードとお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

■スマートメディアをパソコンで使用する場合のご注意

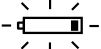
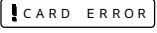
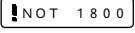
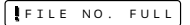
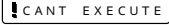
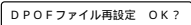
- パソコンで使用したあとのスマートメディアを使って撮影する場合、スマートメディアのフォーマットはカメラで行ってください。
- スマートメディアをカメラでフォーマットして撮影・記録すると、自動的にフォルダーが作成されます。画像データは、このフォルダー内に記録されます。
- パソコンでスマートメディアのフォルダー名、ファイル名の変更・消去などの操作を行わないでください。スマートメディアがカメラで使用できなくなることがあります。
- スマートメディア上の画像データの消去はカメラで行ってください。
- 画像データを編集する場合は、画像データをハードディスクなどにコピーし、コピーした画像データを編集してください。

■主な仕様

形　　式	デジタルカメラ用イメージメモリーカード SmartMedia（スマートメディア）
動作電圧	3.3V
使用条件	温度 0℃～＋40℃ 湿度 80%以下（結露しないこと）
外形寸法	37×0.76×45mm（幅/高さ/奥行き）

フィルムについてのご注意

このカメラに使用しているフィルムの内部には、苛性アルカリの液が含まれています。フィルムが送り出されてから約10分間および未使用時は、下記の点にご注意願います。

●フィルムを切ったり、引きはがしたり、穴を開けたりしないでください。
●液が目や皮膚などに付くと、視力障害や炎症を起こす恐れがあります。
●特に小さなお子様がフィルムに触れたり、口に入れないようご注意ください。

⚠ 万一、このようなことが起きた場合は、ただちにきれいな多量の水で十分に洗浄したあと、医師の診療を受けてください。

＊外から入った異物や、フィルムからもれた液によってローラーが汚れた場合は、フジサービスステーションにご相談ください。

フィルム、プリントの取り扱い

1. フィルムは、涼しい乾燥した場所に保管してください。特に夏場の閉め切った自動車の中などの極端に高温の場所に、長時間放置しないでください。
2. カメラに入れたフィルムは、できるだけ早くプリントしてください。
3. フィルムを極端に温度の低い場所や高い場所に置いてしまった場合は、通常の温度になじんでから撮影してください。
4. プリントは強い光を避け、涼しく乾燥した場所に保存をしてください。
5. フィルムは有効期限内にお使いください。

警告表示

▶液晶モニターや液晶表示パネルに表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示		警告内容	処　置
液晶モニター	液晶表示パネル		
		カメラの電池の容量が少ない。	電池を交換するか、充電してください。
!NO CARD	- - -	スマートメディアが入っていない、または入れている向きが間違っている。	スマートメディアを入れるか、スマートメディアの向きを直してください。
!CARD NOT INITIALIZED	Err	スマートメディアがフォーマット(初期化)されていない。	スマートメディアをフォーマットしてください。
!CARD ERROR	Err	•スマートメディアの接触面(金色の部分)が汚れている。 •スマートメディアが壊れている。 •スマートメディアのフォーマットが異常。	スマートメディアの接触面(金色の部分)を、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでもERRORの場合はスマートメディアを交換してください。
!CARD FULL	FL0	スマートメディアに空き容量がなく、これ以上記録できない。	画像を消去するか、空き容量のあるスマートメディアを使用してください。
!PROTECTED CARD	PPP	スマートメディアが誤記録防止状態になっている。	誤記録防止状態になっていないスマートメディアを使用してください。
!NOT 1800	—	画像サイズが[1800]ではない。	ピクセル設定が[1800]で撮影された画像を選んでください。
!FRAME ERROR	—	正常に記録されていないデータを再生した。	再生することはできません。

警告表示		警告内容	処　置
液晶モニター	液晶表示パネル		
!DPOF FILE ERROR	—	DPOFのコマ設定で999コマ以上のプリント指定をした。	同一スマートメディア内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。
!UNMATCHED DATA	—	カメラで記録したデータ以外のコマを再生した。	再生することはできません。
!FILE NO. FULL	FL 1	コマNO.が999－9999に達している。	コマNO.メモリー機能をOFFにして、フォーマットしたスマートメディアで撮影してください。
	—	シャッター速度が遅く、手ブレを発生しやすい状態。	フラッシュを強制発光にしてください。または三脚を使用してください。
!PROTECT	—	プロテクトされているコマを消去しようとした。	プロテクトを解除してください。
AF	—	AF（オートフォーカス）がうまく働かない。	• 暗い場合は被写体から1.5m以上離れて撮影してください。 • AFロック撮影をしてください。
!CANT EXECUTE	—	• エフェクト機能を実行できない。 • リサイズを実行できない。	サポートしていない画像ファイルのため、実行できません。
DPOFファイル再設定 OK?	—	DPOFファイルにエラーがあります。または、他の機器で設定したDPOFファイルです。	DPOFファイルを新しく作成し、DPOF設定をすべてやり直す場合は“メニュー/実行”ボタンを押してください。

警告表示

警告表示		警告内容	処　　置
液晶モニター	液晶表示パネル		
DPOF指定されていますが消去しますか?	- - -	削除しようとした画像はDPOFプリント指定されている。	画像を削除すると、DPOF指定項目からも同時に設定が削除されます。
! NO TEMPLATE	—	スマートメディアにテンプレート画像が入っていない。もしくは正しいフォルダーに入っていない。FUJIFILM形式のテンプレート画像ではない。	FUJIFILM形式のテンプレート画像をスマートメディアの「FFRAME01」フォルダーに保存したメディアを挿入してください。
フィルムがありません	Pr-0	プリントボタンを押したときにフィルムがない。	プリントする場合は、フィルムパックをセットしてください。
フィルムがなくなりました。次を入れてください	Pr-0	プリント中にフィルムが無くなった。	続けてプリントする場合は、フィルムパックを交換してください。
! FILM JAM ERROR	Err	フィルムが詰まっている。	●プリント出口のプリントを軽く引っぱって取り除いてください。 ●119ページの「プリントが出ない」の項目を参照してください。
! PRINTER ERROR	Err	プリンター内で異常が発生した。	電源を入／切してみてください。異常から復帰しない場合は、フジサービスステーションにご相談ください。
フィルム温度範囲外です	- - -	プリントの色が変化する可能性があります。	“プリント”ボタンもしくは“キャンセル/実行”ボタンを押してください。
温度範囲外です。プリントできません。	Err	プリンターが作動できる環境温度の範囲外です。	0℃～＋45℃の環境でプリントしてください。

故障とお考えになる前に

▶故障と思う前に、もう一度お調べください。

症　　状	原　　因	処　　置
電源が入らない。	●電池が消耗している。 ●ACパワーアダプターの電源プラグがコンセントから外れている。	●新しい電池と交換する。 ●電源プラグをコンセントに差し込む。 ●21ページを参照してください。
電源が途中で切れる。	●電池が消耗している。	●新しい電池と交換する。
電池の消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使っている。 ●端子が汚れている。	●電池をポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付ける。 ●電池の端子部分を乾いたきれいな布でふく。
シャッターボタンを押しても撮影できない。	●スマートメディアが入っていない。 ●スマートメディアに空き容量がなく、これ以上記録できない。 ●スマートメディアが誤記録防止状態になっている。 ●スマートメディアがフォーマットされていない。 ●スマートメディアの接触面（金色の部分）が汚れている。 ●スマートメディアが壊れている。 ●オートパワーオフになり、電源が入っていない。 ●電池が消耗している。	●スマートメディアを入れる。 ●新しいスマートメディアを入れるか、コマを消去する。 ●誤記録防止状態を解除する。 ●フォーマットする。 ●スマートメディアの接触面（金色の部分）を乾いたきれいな布でふく。 ●新しいスマートメディアを入れる。 ●電源を入れる。 ●新しい電池と交換する。

症　　状	原　　因	処　　置
ストロボ撮影ができない。	●モードダイヤルの設定位置がずれている。 ●ストロボ発光禁止モードになっている。 ●ファインダーランプが橙色の点滅中にシャッターボタンを押した。 ●マクロモードになっている。	●モードダイヤルを正しい位置に設定する。 ●ストロボをオート、赤目軽減、強制発光または夜景モードにする。 ●ファインダーランプが緑色の点灯になってからシャッターボタンを押す。 ●マクロモードを解除する。またはストロボを赤目軽減か強制発光モードにする。
ストロボの充電ができない。	●記録できるスマートメディアが入っていない。 ●ストロボ発光禁止モードになっている。 ●電池が消耗している。	●新しいスマートメディアを入れる、コマを消去する、誤記録防止状態を解除する。 ●ストロボをオート、赤目軽減または強制発光モードにする。 ●新しい電池と交換する。
ストロボが発光したのに再生画面が暗い。	●被写体が遠い。 ●ストロボに指がかかっている。	●被写体に近づく。 ●カメラを正しく構える。
画像がぼやけている。	●レンズが汚れている。 ●マクロモードで遠景を撮影した。	●レンズを清掃する。 ●マクロモードを解除する。
スマートメディアのフォーマットができない。	●スマートメディアが誤記録防止状態になっている。	●誤記録防止状態を解除する（ライトプロテクトシールをはがす）。

症　　状	原　　因	処　　置
全コマの消去ができない。	●コマがプロテクトされている。	●プロテクトを解除する。
カメラのボタンやスイッチを操作しても作動しない。	●カメラの誤作動。 ●モードダイヤルの設定位置がずれている。 ●電池が消耗している。	●電源（電池）をいったん取り外して、再び取り付け直してから操作する。 ●モードダイヤルを正しい位置に設定する。 ●新しい電池と交換する。
電源を入れても液晶モニターに画像が表示されない。	●モードダイヤルの設定位置がずれている。	●モードダイヤルを正しい位置に設定する。
プリントが出ない。	●フィルムが入っていない。 ●フィルム詰まり。	●フィルムを入れる。 ●電源をON/OFFする。 ●“シフト”ボタンを押しながら、“FILM PACK EJECT”ボタンを押してフィルムパックぶたを開ける。 ●フィルムパックを軽く引っぱってフィルムパックが外れた場合は、新しいフィルムをセットし直す。 ●フィルムパックが外れない場合は、フジサービスステーションにご相談ください。
プリント中に電源が切れる。	●電池が消耗している。	●新しい電池に入れ替えて電源を入れる（このときフィルムが1枚排出され、フィルム残数表示が誤作動することがあります）。

主な仕様

システム

●**型式：**ファインピックス PR21 プリンカム
●**記録メディア：**スマートメディア（3.3V仕様）
●**スマートメディア標準撮影枚数**
＊撮影枚数は被写体により多少の増減があります。かつ、撮影枚数はカード容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります。

ピクセル	1800×1200			640×480		
画質モード	FINE	NORMAL	BASIC	FINE	NORMAL	BASIC
画像圧縮率	約1/5	約1/10	約1/20	約1/4	約1/8	約1/16
データサイズ	約860KB	約430KB	約220KB	約160KB	約90KB	約50KB
MG-4SB(4MB)	4	8	17	23	44	69
MG-8SB(8MB)	8	17	35	46	89	141
MG-16SB(16MB)	18	34	70	89	163	246
MG-32SB(32MB)	36	70	141	180	330	496
MG-64SB(64MB)	73	142	284	361	663	995

本カメラで再生時に扱える画像は1000コマまでです。
1枚のスマートメディアに記録する画像は、1000コマ以下としてください（詳しくは、15ページをご参照ください）。

●**記録方式：**DCF準拠（Exif Ver2.1 JPEG準拠）／DPOF対応
●**記録画素数**
1,800×1,200ピクセル/640×480ピクセル
1,280×1,024ピクセル（拡大撮影、リサイズ時のみ）
●**再生・プリント対応画素数**
320×240～1,800×1,200ピクセル（横/縦）

カメラ部

●**画像素子**
1/2インチ正方画素インターライン方式CCD、原色フィルター採用　総画素数：約230万
●**撮影感度**
ISO 125相当
●**レンズ**
フジノン単焦点レンズ F3.2/F8
●**焦点距離**
7.6mm（35mmカメラ換算35mm相当）
●**ファインダー**
実像式光学ファインダー、視野率：約80％
●**露出制御**
TTL64分割測光、プログラムAE（マニュアル撮影時、露出補正可能）
●**ホワイトバランス**
オート（マニュアル撮影時、6ポジション選択可能）
●**撮影可能範囲**
標準　：約50cm～無限遠
マクロ：約9cm～50cm
●**電子シャッター**
可変速　1/4秒～1/1000秒（メカニカルシャッター併用）
●**絞り**
F3.2/F8自動切り換え
●**セルフタイマー**
タイマー時間約10秒
●**消去方式**
1コマ消去・全コマ消去・フォーマット（初期化）
●**液晶モニター**
1.8型 11万画素D-TFD

●**ストロボ**
調光センサーによるオートストロボ
撮影可能距離：約0.3m～2.5m
発光モード　：オート/赤目軽減/強制発光/発光禁止

●**使用条件**
温度：0℃～＋40℃
湿度：80%以下（結露しないこと）

プリンター部

●**露光ヘッド**
VFPH(蛍光表示管露光方式)、254dpi、480dot ラインヘッド

●**プリント方法**
RGB3回スキャン露光方式

●**プリント記録媒体**
instax mini フィルム
フィルムサイズ：86×54mm(横/縦)
プリントサイズ：62×46mm(横/縦)

●**プリント画素数**
620×460 dot

●**プリント解像度**
主走査方向、副走査方向とも254dpi

●**使用条件**
温度：＋10℃～＋35℃
湿度：10%～80%（結露しないこと）

入・出力端子

●**VIDEO（映像）出力端子**
ミニ（φ3.5mm）ピンジャック（1）

●**DC（電源）入力端子**
専用ACパワーアダプター AC-PR/5V接続

電源部、その他

●**電源**
単3形ニッケル水素電池　4本使用
単3形ニカド電池　4本使用（別売）
専用ACパワーアダプターAC-PR/5V使用（別売）

●**本体外形寸法**
113×127×60mm（幅/高さ/奥行き）（付属品、突起部含まず）

●**本体質量**
約550g（付属品、電池、スマートメディア、フィルムパック含まず）

●**撮影時質量**
約700g（電池、スマートメディア、フィルムパック含む）

●**付属品**
5ページをご覧ください。

●**別売アクセサリー**
106ページをご覧ください。

＊仕様・性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
＊液晶モニターは非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや、常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買上げ日より1年間です。

アフターサービス

■調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

■それでも調子が悪いときはサービスステーションへ
お買上げ店、またはフジサービスステーションにご相談ください。

■保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■修理部品の保有期間
本機の補修用部品は、製造打ち切り後8年をめやすに保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

■修理ご依頼に際してのご注意

- 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添付してください。
- お買上げ店やフジサービスステーションの窓口で、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。
- 修理箇所のご指定のないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
- 修理料金が高く見込まれる修理のときは、「○○○○円以上は連絡してほしい」と料金をご指定ください。ご指定のないときは、修理をすすめさせていただきます。
- 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
- 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱に入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
- 修理期間は故障内容により多少違いますが、厳重な調整検査を行いますので普通修理品の場合はフジサービスステーションで、お預かりしてから通常7～14日位をご予定ください。

蛍光表示管露光ヘッド、プリントメカニズムには寿命があります。およそ3000枚をめやすに点検・交換されることをおすすめします。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
■型名　　　：ファインピックス PR 21
■故障の状況：できるだけ詳しく
■ご購入年月日